



2025 Report on Test Takers Worldwide

Speaking & Writing Tests



目次

TOEIC® Speaking & Writing バックグラウンドアンケート	3
2025 年 TOEIC® Speaking Test 受験者の特徴	4
TOEIC® Speaking Test の国・地域別平均スコア	5
TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別集計	7
性別	12
学歴	13
専攻科目	14
就業状況	15
業種	16
職種	19
英語学習期間	20
英語学習の際に最も重要視する言語技能	21
日常生活での英語使用率	22
最も使用する言語技能	23
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	24
英語圏滞在経験	25
英語圏滞在目的	26
TOEIC® Speaking Test の受験経験	27
TOEIC® Speaking Test の受験目的	28
2025 年 TOEIC® Writing Test 受験者の特徴	29
TOEIC® Writing Test の国・地域別平均スコア	30
TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別集計	32
性別	37
学歴	38
専攻科目	39
就業状況	40
業種	41
職種	44
英語学習期間	45
英語学習の際に最も重要視する言語技能	46
日常生活での英語使用率	47
最も使用する言語技能	48

英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	49
英語圏滞在経験	50
英語圏滞在目的	51
TOEIC® Writing Test の受験経験	52
TOEIC® Writing Test の受験目的	53
TOEIC® S&W スピーキングとライティングのスコアの関係	53
資料 A	54
バックグラウンドアンケート.....	54
資料 B1	56
2025 年 TOEIC® Speaking Test の母集団に基づく各設問の回答率.....	56
資料 B2	57
2025 年 TOEIC® Writing Test の母集団に基づく各設問の回答率.....	57
資料 C	58
地域別のスピーキングとライティングのスコアの相関値	58

TOEIC® Speaking & Writing バックグラウンドアンケート

TOEIC® Speaking & Writing バックグラウンドアンケートは、TOEIC® Speaking & Writing Tests（以下、TOEIC® S&W）受験者の学歴、職歴、英語の学習と使用、TOEIC® S&W 受験歴についての情報を収集する自己記入式調査です。アンケートへの回答から、受験者のバックグラウンドや、受験者の TOEIC® S&W のスコアと英語能力の向上に影響する要因を確認することができます。受験者は TOEIC® S&W を受ける前に、TOEIC® S&W バックグラウンドアンケートに回答します。

TOEIC® S&W バックグラウンドアンケートの設問は本資料 54～55 ページ「資料 A」を参照してください。

本報告書は、2025 年に世界において全受験者が回答した TOEIC® S&W のバックグラウンドアンケート結果に基づいています。

受験者の総数は国・地域によって異なりますのでご注意ください。また、回答率も質問項目によって異なり、スピーキング（本資料 56 ページ「資料 B1」）とライティング（本資料 57 ページ「資料 B2」）では回答率にかなりの違いがありました。このため、以下のデータに基づいた推測を行う際にはご注意ください。

受験者は、TOEIC® Speaking Test と TOEIC® Writing Test の両方を同時に受けることも、どちらかのテストを単独で受けることもできます。本報告書は、異なる受験母集団に基づいてスピーキング、ライティングそれぞれの質問項目別にスコアに関する情報をまとめたものです。

報告書本文に記載されるパーセンテージ（％）は小数点以下を調整し整数値で表示しているため、合計値が 100％を超える場合があります。また、表やグラフ等で紹介する数値は、サンプル数が 50 以上のものに限定しています。

2025 年 TOEIC® Speaking Test 受験者の特徴

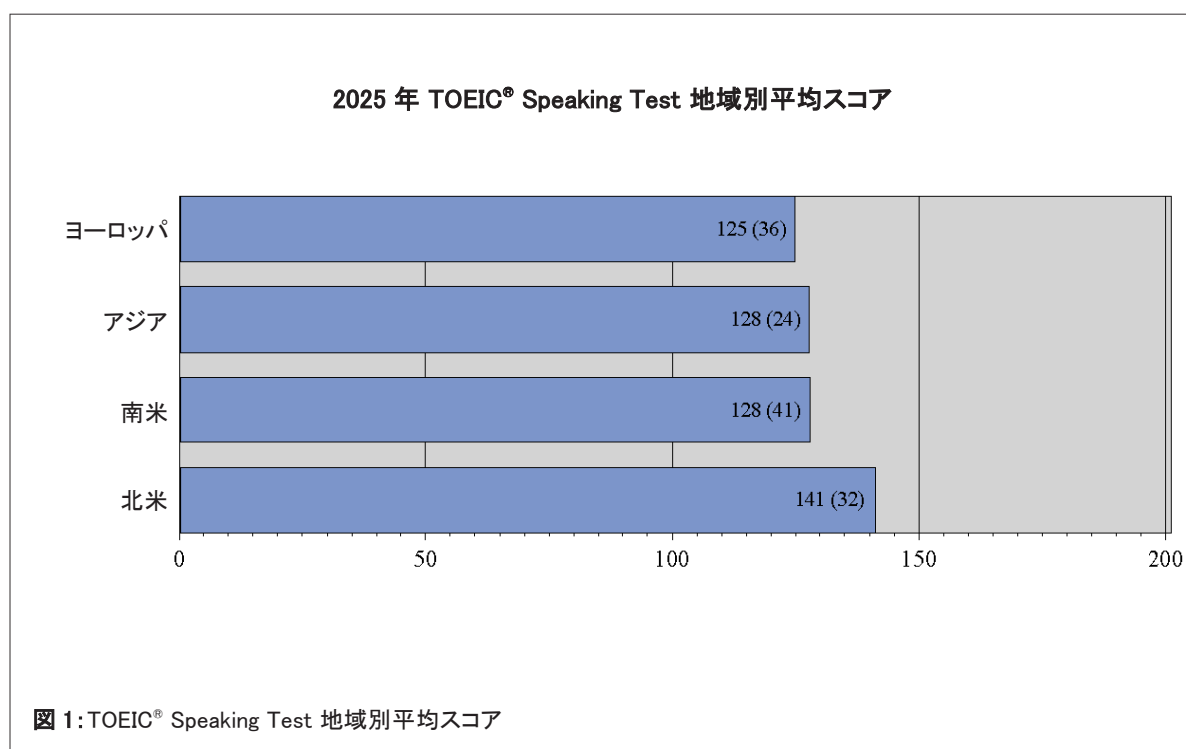
バックグラウンド情報は、公開テストまたは IP テスト（Institutional Program：団体特別受験制度）により 2025 年 TOEIC® Speaking Test を受けた受験者（TOEIC® Speaking Test と TOEIC® Writing Test の両方を受けた受験者、TOEIC® Speaking Test のみ受けた受験者を含む）全員から収集しました。以下は、バックグラウンドアンケートからわかる TOEIC® Speaking Test 受験者の特徴です。前述の通り、各質問項目に回答した受験者総数は異なります。

- 性別は 51%が男性
- 学歴（最終学歴または受験時在学）で最も多いのは大学卒または大学在学中（70%）
- 専攻で最も多いのは「工学」で 36%、「教育学」が 20%、「経営学」が 14%
- 39%が「フルタイム勤務者」、36%が「全日制学生」
- 就業者の業種は 36%が「製造業」、18%が「サービス業」
- 職種は 22%が「事務職」、18%が「管理職」
- 76%が 6 年超の英語学習経験あり
- 英語学習において最も重要視する技能としては、36%が「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」を選択
- 日常生活において英語を使用する割合については、37%が「1～10%」と回答
- 最も使用する英語技能としては、23%が「リーディング」を選択
- 46%は英語でのやりとりに「時々」苦勞すると回答
- 66%は英語圏滞在経験なし
- 英語圏滞在目的としては、41%が「旅行のため」、26%が「英語学習プログラム参加のため」と回答
- TOEIC® Speaking Test の受験経験については、44%が「なし」、22%が「3 回以上」と回答
- 受験目的については、56%が「就職活動のため」、16%が「昇進・昇格のため」と回答

TOEIC® Speaking Test の国・地域別平均スコア

以下の図 1 は、地域別の TOEIC® Speaking Test スコアの平均と標準偏差を示しています。次ページの表 1 は、受験者が受験した国・地域別の平均スコアを集計したものです。

ただし、受験者が TOEIC® Speaking Test を受験した国・地域は、受験者の母国・地域と必ずしも一致しないことにご注意ください。なお、この表には TOEIC® Speaking Test 受験者が 50 名以上の国・地域のみ掲載されています。



*注：各チャートには受験者が 50 名以上の国・地域のみ反映されています。メキシコは北米に含みます。

表 1 : TOEIC[®] Speaking Test の 国・地域別平均スコア

国・地域	スピーキング	
	平均	(SD)*
ブラジル	143	(26)
チリ	144	(29)
中国	121	(24)
コロンビア	102	(46)
コスタリカ	147	(29)
エルサルバドル	128	(24)
フランス	124	(37)
香港	112	(36)
インドネシア	131	(26)
イスラエル	162	(32)
日本	116	(31)
韓国	129	(22)
メキシコ	129	(34)
ペルー	103	(47)
フィリピン	154	(21)
シンガポール	134	(23)
スペイン	140	(28)
台湾	147	(21)
タイ	115	(36)
米国	119	(46)
ベトナム	124	(21)

*SD=標準偏差

TOEIC® Speaking Test 受験者の カテゴリー別集計

表 2 は、カテゴリー別に分けられた TOEIC® Speaking Test 受験者の人数割合（％）と平均スコアを示しています。各カテゴリーの TOEIC® Speaking Test 受験者に関する詳細な情報は表 2 の後に示されています。

本報告書で使用されるカテゴリーは、TOEIC® S&W バックグラウンドアンケートに記載されているカテゴリーです。

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者の カテゴリー別平均スコア

		受験者割合 (%)	スピーキング	
			平均	(SD)*
性別	女性	49.4	132	(23)
	男性	50.5	127	(23)
	その他	0.0	83	(37)
学歴	小学校	4.0	123	(23)
	中学校	0.3	120	(29)
	高校	3.5	124	(29)
	高専	0.4	118	(28)
	専門学校	0.6	126	(28)
	短大	5.4	118	(26)
	大学	70.3	131	(22)
	大学院	11.2	132	(22)
	語学学校	4.3	127	(22)
専攻科目	教養学	20.3	132	(24)
	社会学	6.9	135	(22)
	経営学	13.8	134	(22)
	科学	7.6	129	(22)
	医療関連	3.4	130	(23)
	工学	36.1	126	(21)
	その他	11.9	126	(25)

*SD=標準偏差

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者のカテゴリー別
平均スコア（続き）

		受験者割合 (%)	スピーキング	
			平均	(SD)*
就業状況	フルタイム勤務者	39.4	128	(24)
	パートタイム勤務者	6.0	129	(24)
	非就業者	18.7	131	(21)
	全日制学生	35.9	131	(23)
業種	農業	9.3	123	(23)
	建設	3.2	124	(24)
	食品	2.1	128	(27)
	医薬品	1.7	131	(22)
	化学	4.5	127	(22)
	繊維	0.2	125	(26)
	石油	0.5	131	(22)
	金属	2.2	128	(24)
	機械	5.9	123	(24)
	電機	8.7	123	(22)
	自動車	3.9	124	(23)
	ガラス	0.2	125	(23)
	アパレル	0.7	133	(24)
	その他製造	5.3	123	(25)
	教育機関（高校以下）	2.5	144	(25)
	教育機関（大学以上）	1.5	139	(27)

*SD=標準偏差

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者の
カテゴリー別平均スコア（続き）

		受験者 割合 (%)	スピーキング	
			平均	(SD)*
業種（続き）	政府／役所／公益団体	1.1	136	(23)
	国際団体	0.2	140	(27)
	軍隊／自衛隊	2.5	131	(24)
	医療	2.6	130	(22)
	旅行	3.7	133	(23)
	その他サービス	7.2	131	(24)
	公共事業（電気／水）	2.9	129	(21)
	マスコミ	1.1	136	(24)
	通信	3.2	129	(21)
	小売／卸し	1.0	131	(24)
	商社	2.6	135	(24)
	金融	3.6	134	(22)
	保険	0.4	133	(21)
	不動産	0.3	131	(25)
	運輸	1.4	136	(23)
	その他	13.7	127	(25)
職種	管理職	18.2	127	(23)
	科学／技術職	11.9	126	(22)
	教師／講師	3.6	142	(27)
	専門職	2.5	135	(24)
	技術者	13.0	123	(23)
	マーケティング／販売	6.7	132	(25)
	事務職	22.3	128	(24)
	サービス業	8.6	131	(23)
	その他	13.1	128	(25)
英語学習期間	4 年以下	14.7	120	(25)
	4 年超～6 年	9.8	125	(23)
	6 年超～10 年	22.7	128	(22)
	10 年超	52.8	134	(22)

*SD=標準偏差

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者の
カテゴリー別平均スコア（続き）

		受験者 割合 (%)	スピーキング	
			平均	(SD)*
最も重要視する言語技能	リスニング	10.5	125	(23)
	リーディング	3.8	129	(25)
	スピーキング	19.0	129	(22)
	ライティング	0.5	128	(29)
	リスニング&スピーキング	28.0	128	(23)
	リーディング&ライティング	1.8	132	(26)
	リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング	36.4	132	(23)
日常生活での 英語使用率	なし	11.7	124	(23)
	1～10%	36.8	128	(23)
	11～20%	29.2	130	(22)
	21～50%	16.4	134	(23)
	51～100%	5.9	140	(26)
最も使用する英語技能	リスニング	14.7	127	(24)
	リーディング	23.0	130	(22)
	スピーキング	14.1	128	(23)
	ライティング	2.3	128	(25)
	リスニング&スピーキング	19.8	128	(23)
	リーディング&ライティング	8.7	132	(23)
	リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング	17.4	133	(24)
英語でのコミュニケー ションに苦勞する頻度	ほとんどない	9.4	132	(28)
	あまりない	13.5	137	(24)
	時々	45.9	132	(21)
	頻繁にある	21.4	125	(21)
	ほぼ常時	9.8	118	(24)

*SD=標準偏差

表 2 : TOEIC® Speaking Test 受験者の
カテゴリー別平均スコア（続き）

		受験者 割合 (%)	スピーキング	
			平均	(SD)*
英語圏滞在期間	なし	65.6	127	(23)
	6 カ月未満	21.8	131	(22)
	6 カ月～12 カ月	5.5	136	(22)
	1 年超～2 年	2.7	142	(22)
	2 年超	4.3	147	(25)
英語圏滞在目的	進学のため	11.5	150	(23)
	英語学習プログラム参加のため	26.3	136	(21)
	旅行のため	40.8	130	(21)
	仕事のため	14.1	128	(23)
	その他	7.3	143	(25)
TOEIC® S&W 受験回数	なし	43.5	130	(25)
	1 回	22.7	131	(22)
	2 回	11.9	130	(21)
	3 回以上	21.9	128	(22)
TOEIC® S&W 受験目的	就職活動のため	56.1	131	(22)
	昇進・昇格のため	15.8	125	(25)
	英語学習プログラムの結果を測るため	4.6	131	(24)
	英語学習のため	10.0	131	(25)
	卒業に必要なため	13.4	128	(25)
	ビザ取得のため	0.0	139	(22)

*SD=標準偏差

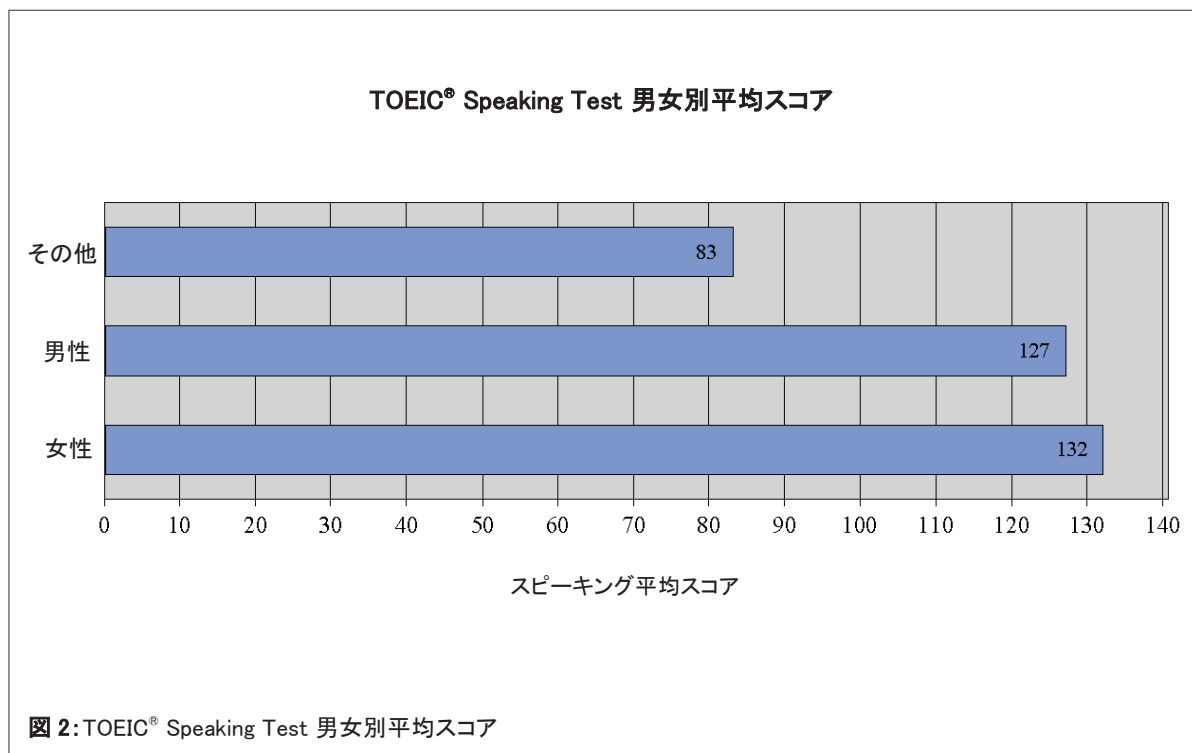
性別

全体で見ると、TOEIC® Speaking Test 受験者は男性の割合が高くなっています（表 2 参照）。国・地域別に見ると、中国（80%）、シンガポール（59%）、インドネシア（58%）、ペルー（56%）、日本（55%）、メキシコ（54%）、台湾（53%）、フランスおよびチリ（いずれも 52%）などで男性の受験者の割合が高くなっています。

一部の国・地域では、女性の受験者の割合が男性より高い結果となりました。

イスラエル（76%）、コロンビア（75%）、コスタリカ（67%）、香港（64%）、エルサルバドルおよびベトナム（いずれも 63%）、ブラジルおよびタイ（いずれも 55%）、米国（54%）、スペイン（51%）などがそうです。

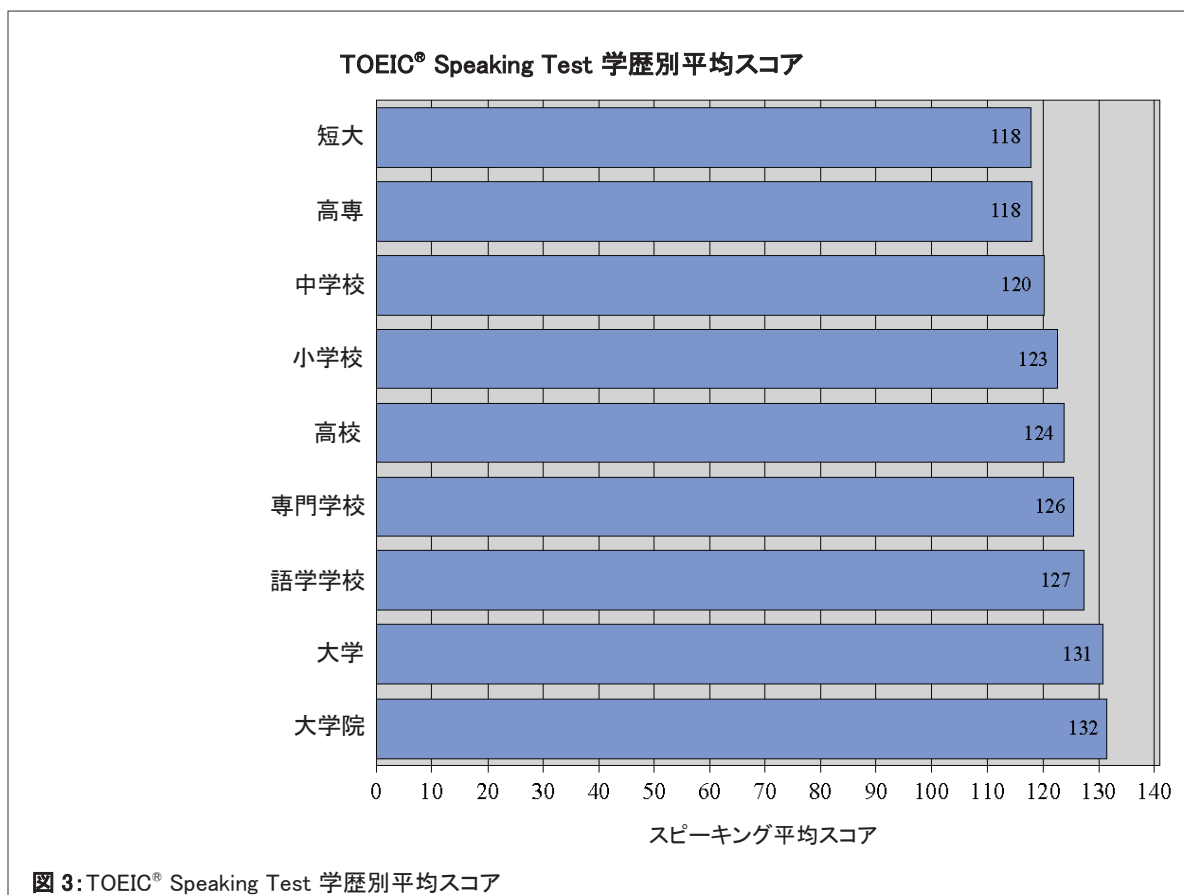
図 2 が示すように、TOEIC® Speaking Test の平均スコアでは女性が男性を上回りました。



学歴

受験者の大半（70％）は、バックグラウンドアンケート回答時点の学歴が大学卒（学士取得）または大学在学中でした。大学卒または大学在学中の受験者の割合は、女性（70％）と男性（71％）でほぼ同率です。大学院卒または大学院在学中の受験者の割合は、女性（9％）よりも男性（13％）の方がやや高い結果となりました。

国・地域によって教育システムが異なるため、学歴について一律に比較することはできませんが、チリ（100％）、フィリピン（85％）、韓国（74％）、日本（61％）、タイ（56％）では、大学卒または大学在学中の受験者の割合が高いことがわかります。これに対し、中国（41％）では、大学院卒または大学院在学中の受験者の割合が最も高い結果となりました。小学校卒の受験者の割合が高いのは、ベトナム（74％）と香港（54％）です。

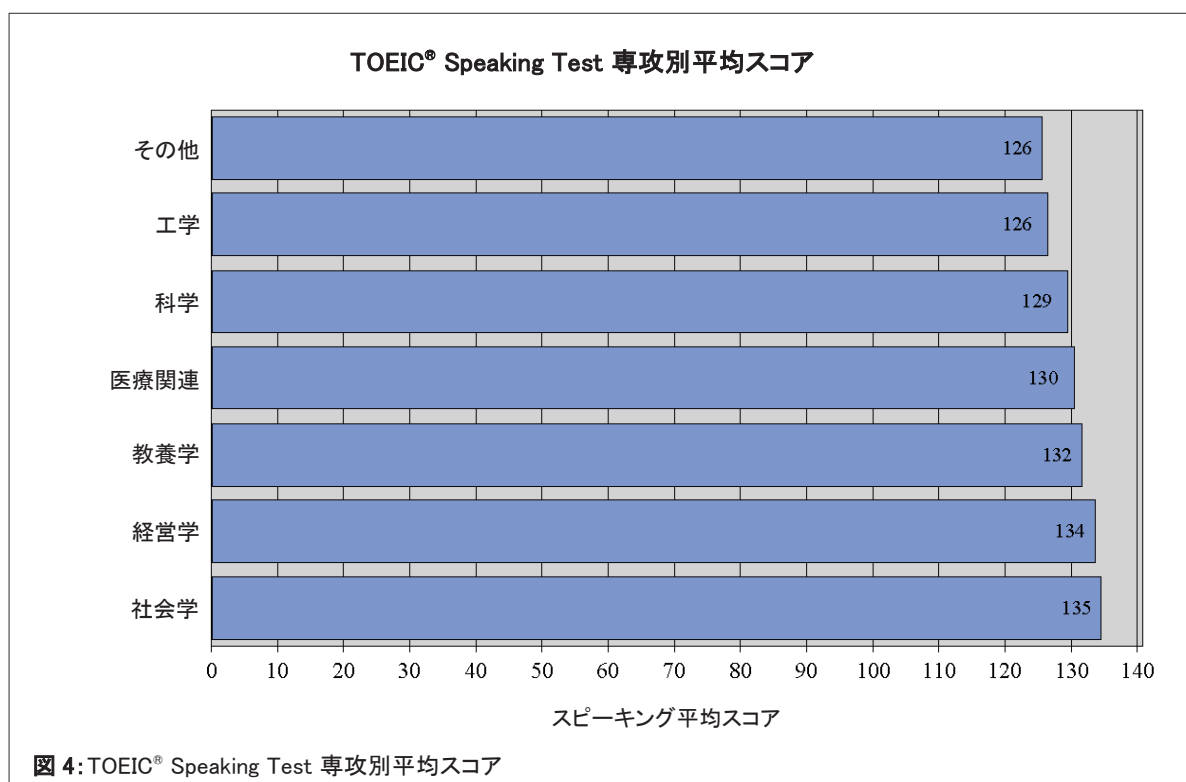


専攻科目

受験者の専攻科目で最も多かったのは「工学」(36%)です。「工学」専攻の受験者の割合が高いのは、中国および韓国(いずれも40%)です。2番目に多い専攻科目は「教養学」(20%)、3番目に多いのは「経営学」(14%)でした。「教養学」専攻の受験者が多かったのは、コスタリカおよびスペイン(いずれも100%)、ベトナム(80%)、香港(61%)、台湾(31%)、日本(27%)です。

「工学」および「経営学」専攻の受験者が多かったのはタイ(いずれも23%)です。

全体で見ると、「教養学」専攻については男性(12%)よりも女性(29%)、「工学」専攻については女性(19%)よりも男性(53%)の方が高い結果となりました。

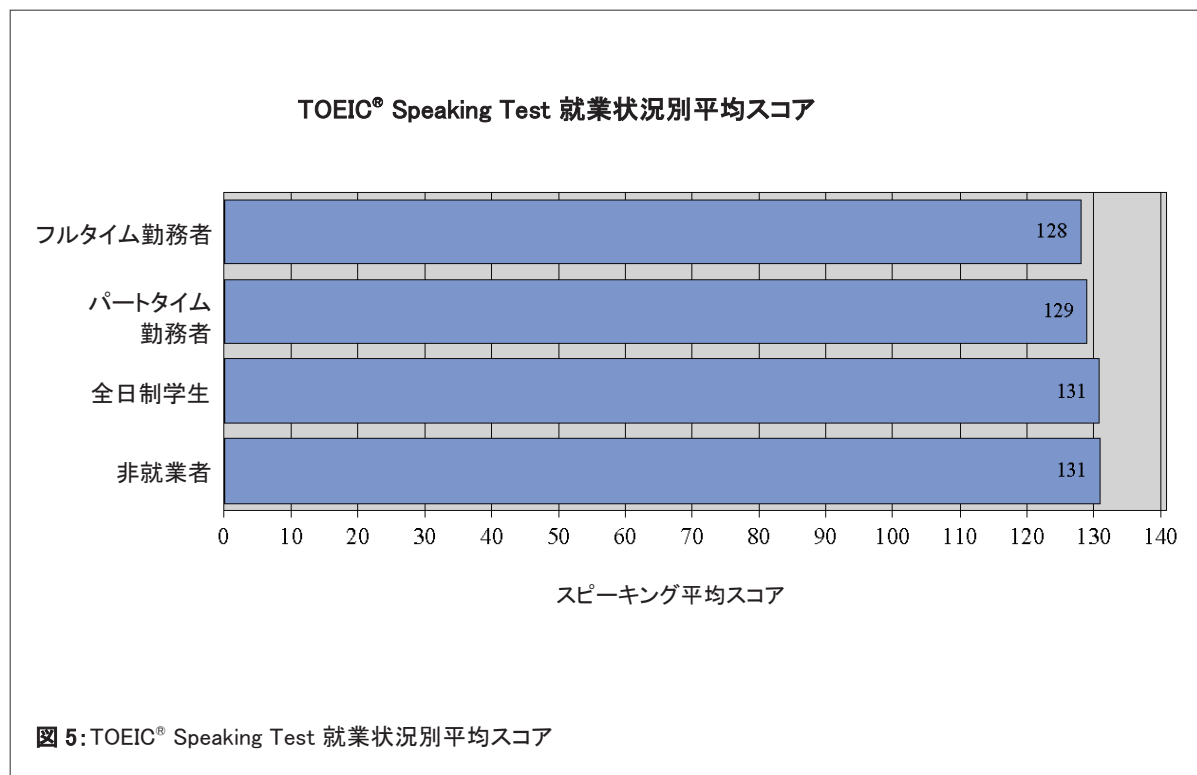


就業状況

全体で見ると、TOEIC® Speaking Test 受験者の大半は、「フルタイム勤務者」（39%）または「全日制学生」（36%）でした。「フルタイム勤務者」の割合は、タイおよびペルー（いずれも 93%）、香港およびベトナム（いずれも 92%）、コロンビアおよび中国（いずれも 91%）、インドネシア（83%）、イスラエル（80%）、チリ（78%）、メキシコ（70%）、ブラジル（65%）、日本（60%）、コスタリカ

（53%）、フランスおよび米国（いずれも 52%）などで高くなっています。「全日制学生」の割合が特に高かったのは、エルサルバドル（95%）とフィリピン（81%）です。

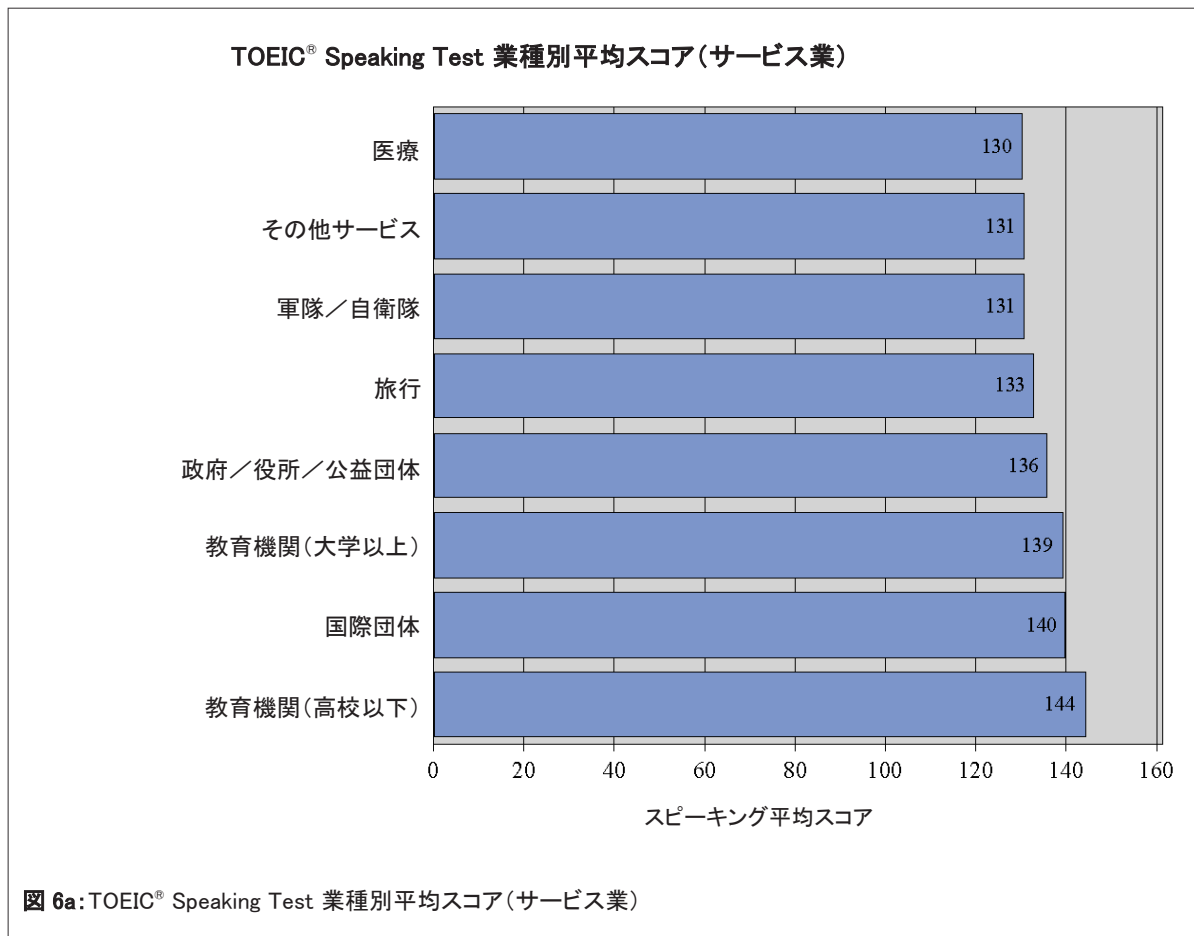
「フルタイム勤務者」の割合は女性（33%）よりも男性（46%）、「全日制学生」の割合は男性（35%）よりも女性（37%）の方が高くなっています。



業種

表2に見られるように、ほとんどのフルタイム勤務者は「製造業」または「サービス業」に従事しています。

図6a（サービス業）、図6b（製造業）、図6c（サービス業と製造業以外）は、TOEIC® Speaking Test の平均スコアを業種別に示したものです。



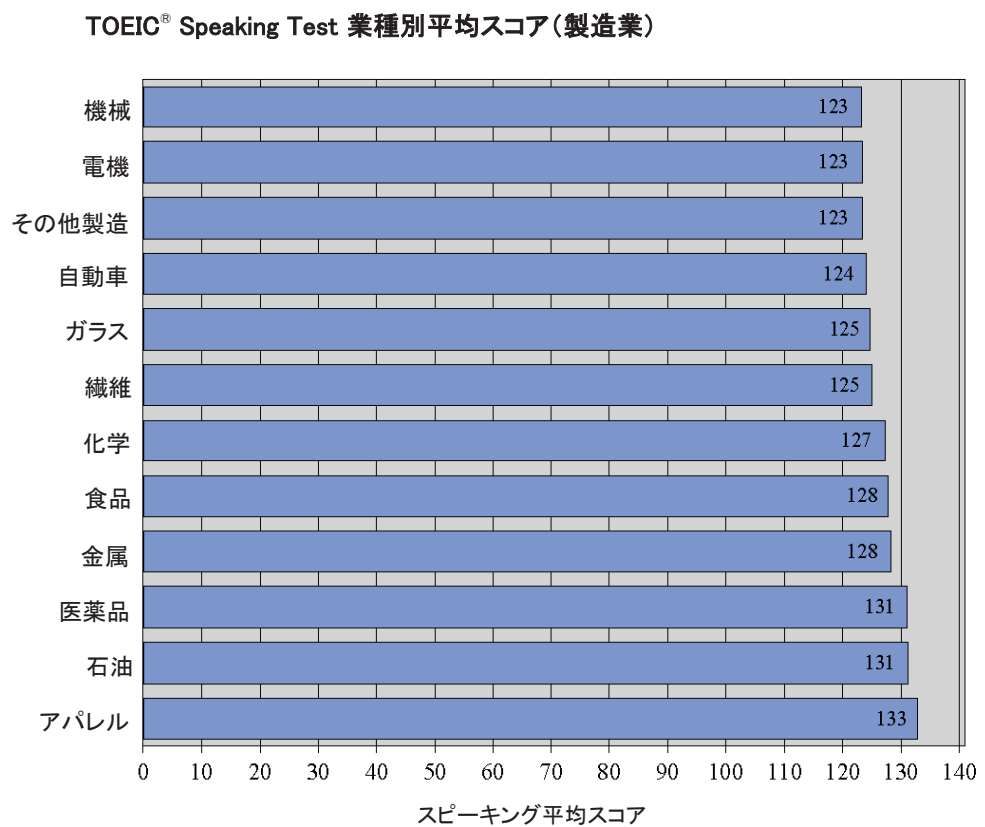
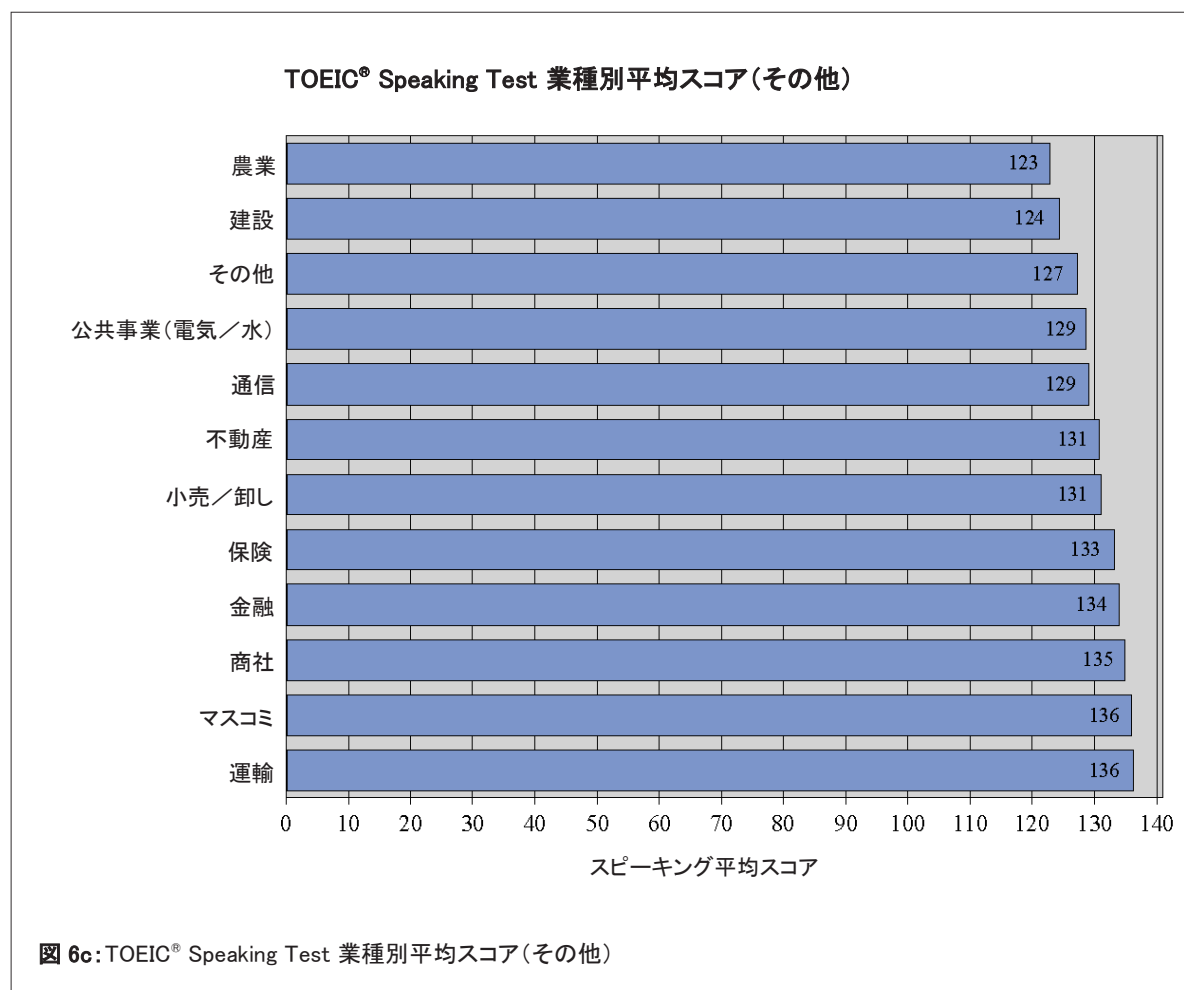


図 6b: TOEIC® Speaking Test 業種別平均スコア(製造業)

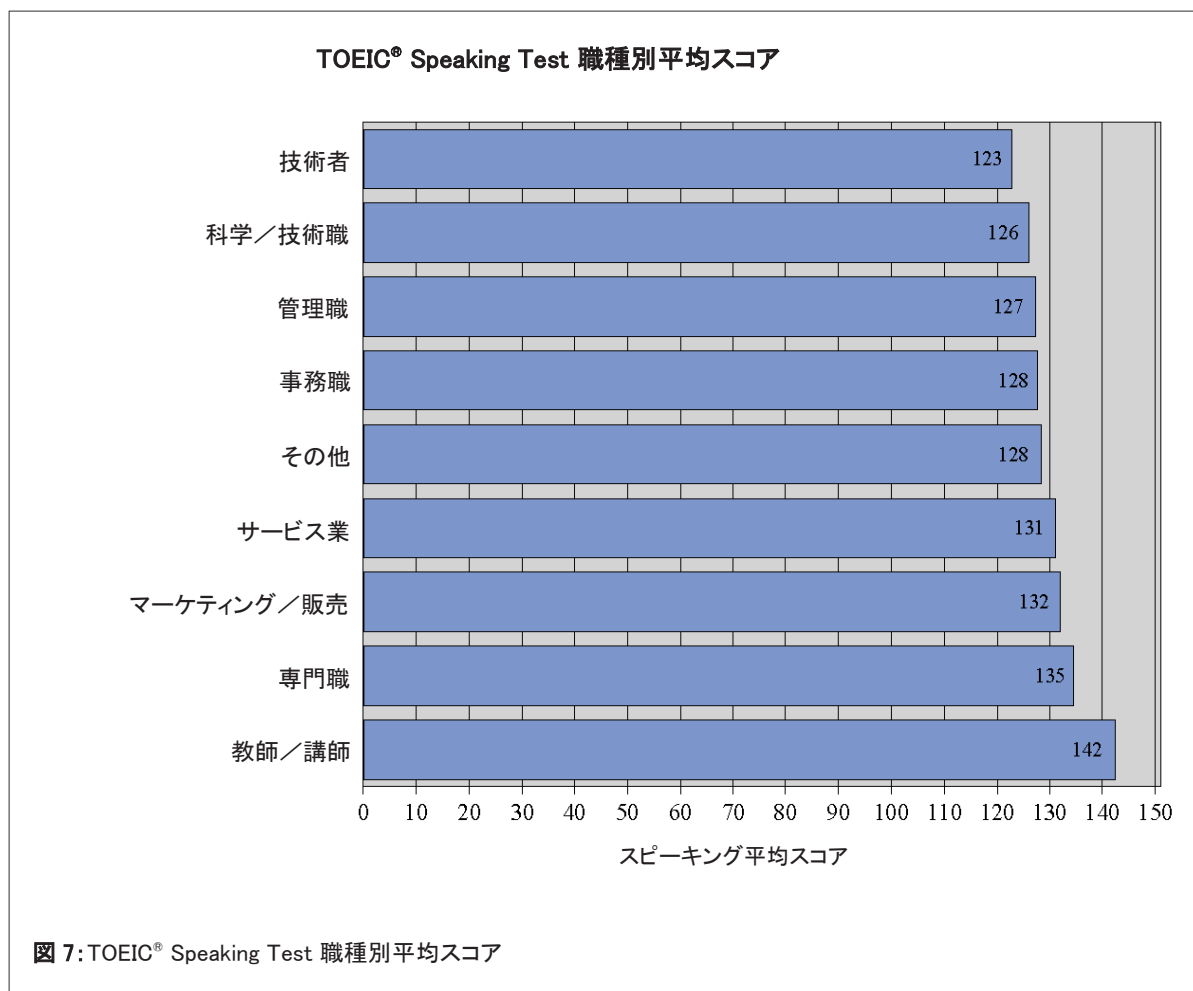


職種

受験者の職種は、国・地域によって大きく異なります。全体で見ると、最も多かったのは「事務職」（22％）です。

「事務職」に従事する受験者の割合が最も高いのは韓国（28％）で、「管理職」の割合は、ベトナム（86％）と香港（60％）で高くなっています。「教師／講師」が多かったのは、イスラエル（100％）、コロンビア（98％）、コストリカ（65％）です。

全体で見ると、「サービス業」の割合は男性（4％）よりも女性（15％）、「技術者」の割合は女性（5％）よりも男性（19％）、「科学／技術職」の割合は女性（7％）よりも男性（15％）の方が高い結果となりました。

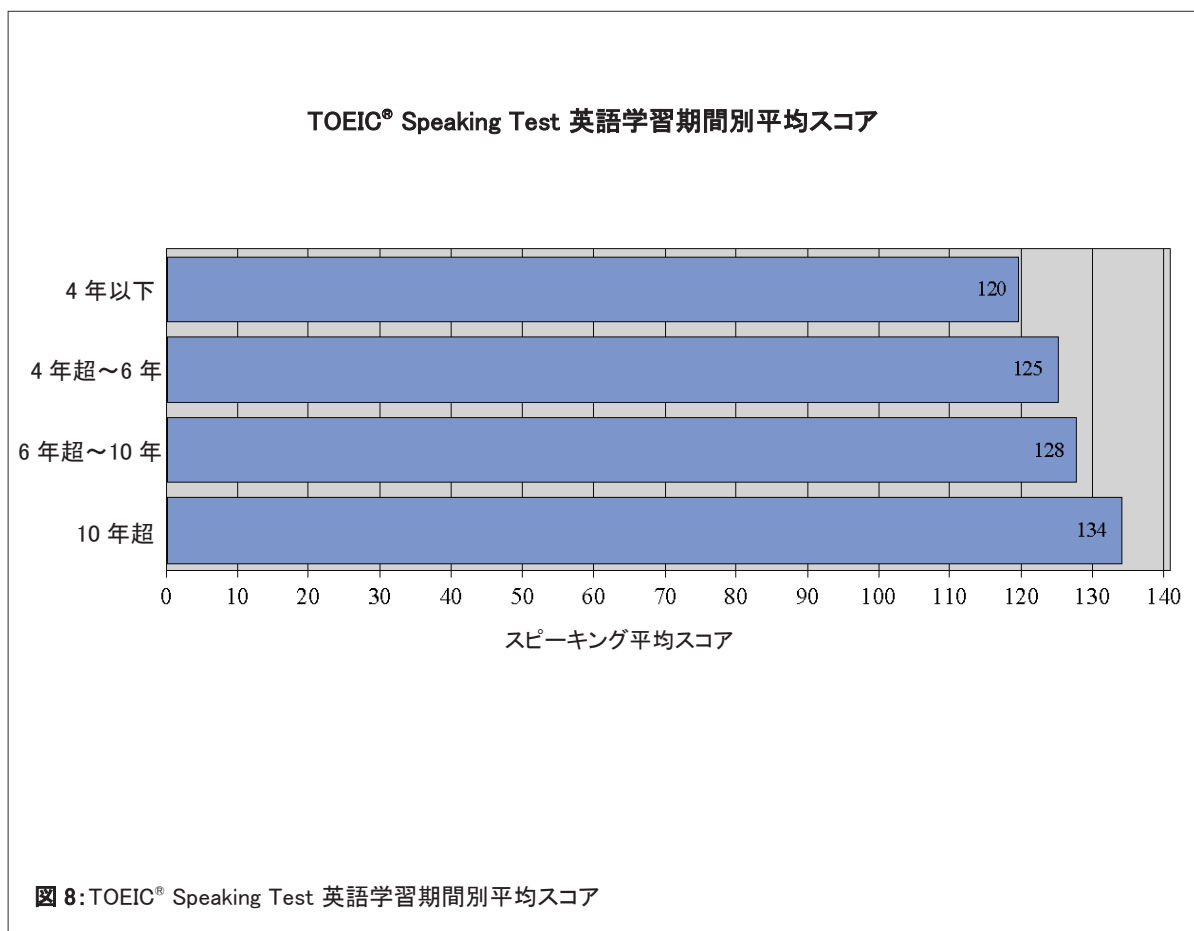


英語学習期間

2025 年は受験者の 76%が「6 年超」の英語学習期間があると回答しました。

エルサルバドル（95%）、ベトナム（87%）、香港（68%）、ペルー（51%）では、英語学習期間が「4 年以下」の受験者が高い割合を占めています。一方、台湾（71%）、コロンビアおよびイスラエル（いずれも 67%）、日本（62%）、フィリピン（61%）、韓国（55%）、中国（50%）では、英語学習期間が「10 年超」の受験者の割合が高くなっています。

全体で見ると、「10 年超」の英語学習期間がある受験者の割合は、男性（49%）よりも女性（57%）の方が高い結果となりました。



英語学習の際に最も重要視する言語技能

全体で見ると、受験者の36%は、学習の際に英語の4技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）を重要視すると回答し、28%は「リスニング&スピーキング」を最も重要視すると回答しました。

イスラエル（85%）、コロンビア（81%）、エルサルバドル（70%）、台湾（46%）、フィリピン（40%）、韓国（39%）では、4技能すべてを重要視するという回答が多数を占めています。一方、ベトナム（86%）、香港（61%）、シンガポール（31%）では、「リスニング」のみを重要視するという回答が多く見られました。

TOEIC® Speaking Test 最も重要視する言語技能別平均スコア

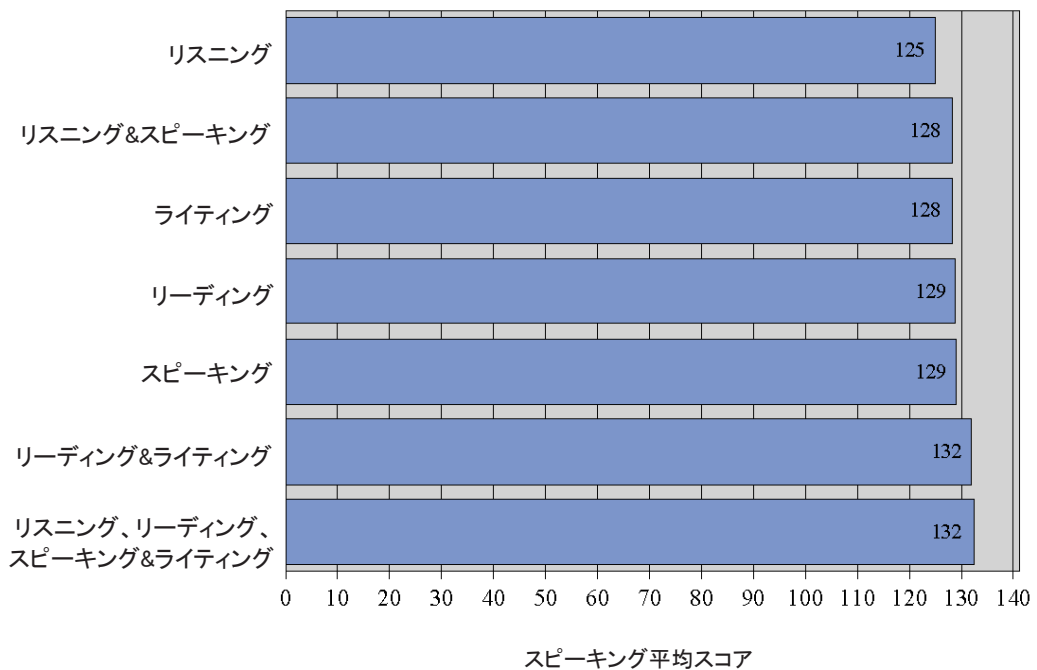
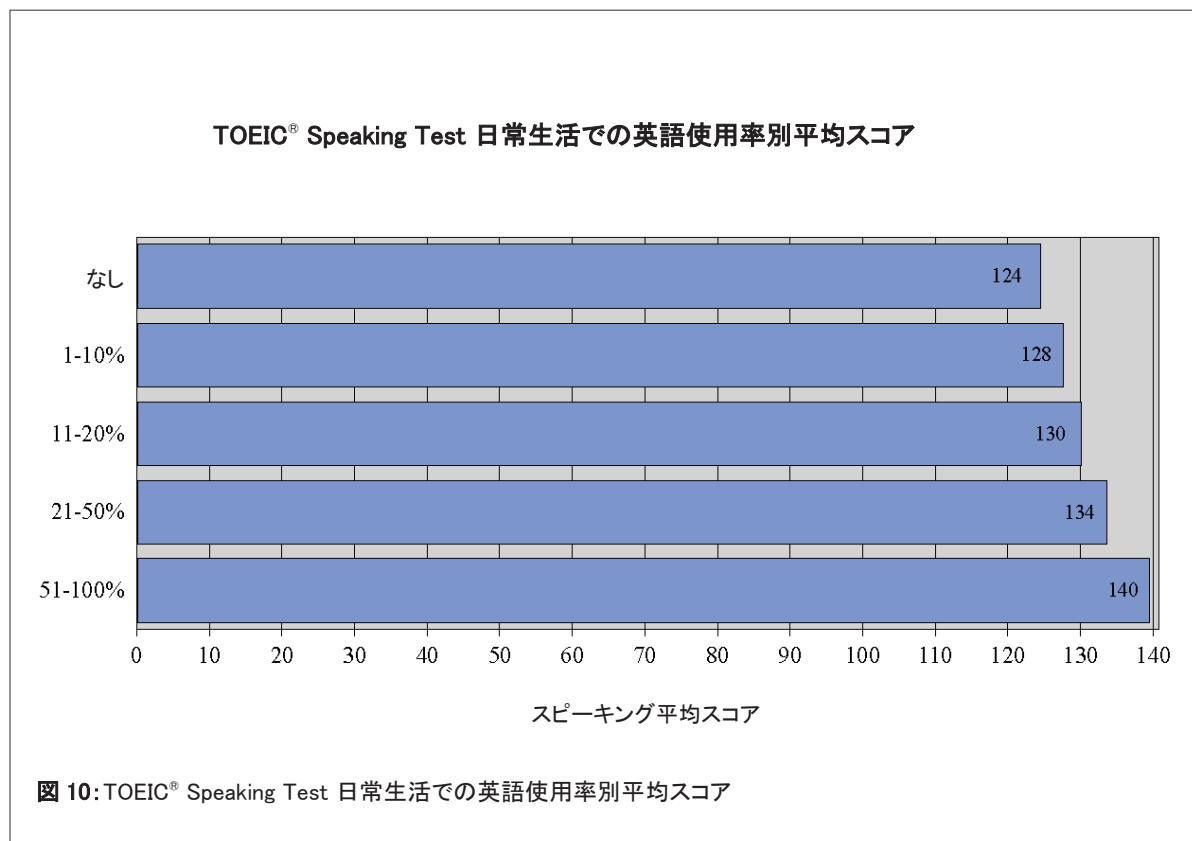


図 9: TOEIC® Speaking Test 最も重要視する言語技能別平均スコア

日常生活での英語使用率

「日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者全体の37%が「1～10%」と回答しました。この回答は、ペルー（48%）、シンガポール（43%）、日本（40%）、韓国（39%）、中国（35%）などで特に多く挙げられています。

日常生活において英語を使用しないという回答が多く見られたのは、ベトナム（83%）と香港（61%）でした。



最も使用する言語技能

受験者全体の23%は、最も使用する英語技能として「リーディング」を挙げています。「リスニング&スピーキング」という2つの技能を挙げた受験者の割合は20%、4技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）を挙げた受験者の割合は17%となっています。「リスニング」という回答の割合が高かった国・地域は、ベトナム

（87%）、香港（61%）、日本（31%）です。「リーディング」を挙げた受験者が多かったのは、ペルー（46%）、台湾（32%）、中国（28%）でした。

「リスニング&スピーキング」という2つの技能を挙げた受験者の割合は、男性（18%）よりも女性（21%）の方が高くなっています。

TOEIC® Speaking Test 最も使用する英語技能別平均スコア

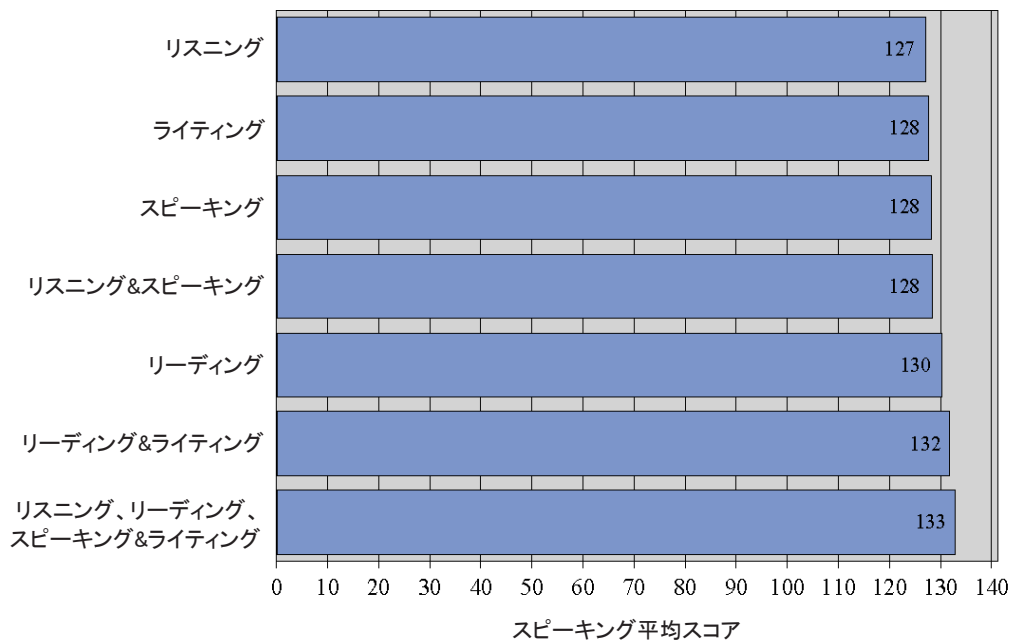
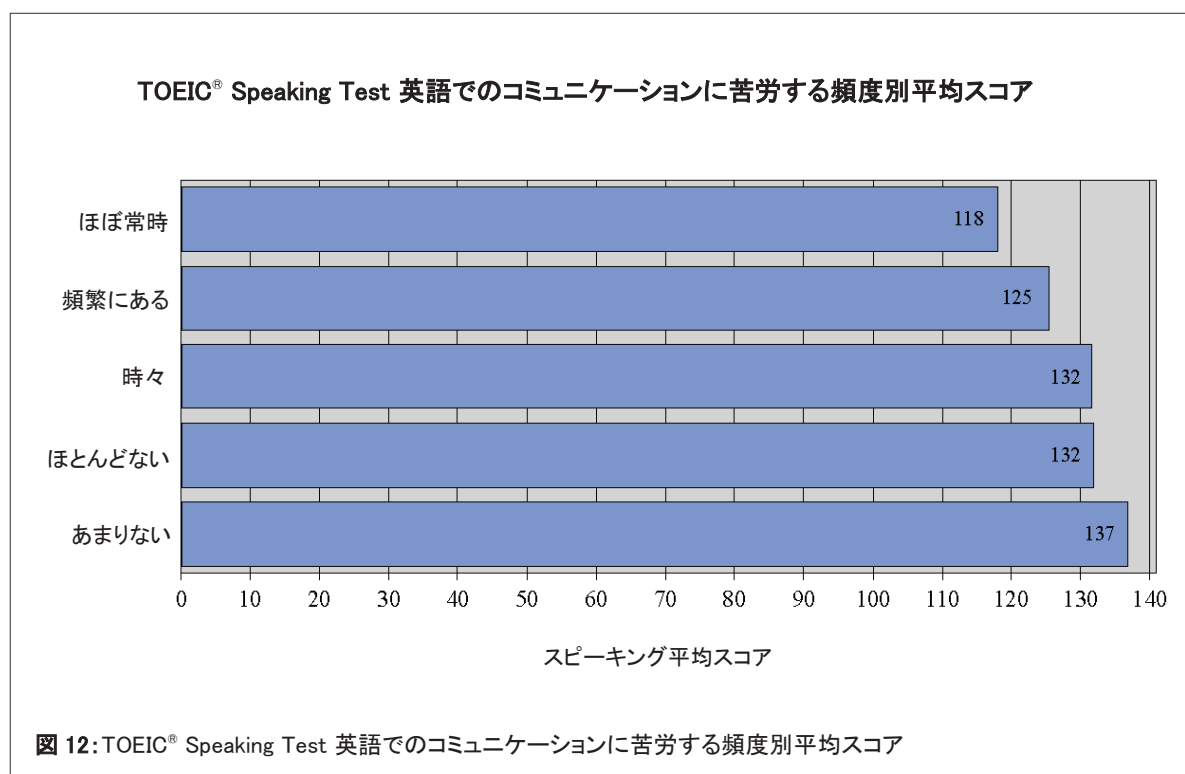


図 11: TOEIC® Speaking Test 最も使用する英語技能別平均スコア

英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度

「英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者全体の46%が「時々」、21%が「頻繁にある」、14%が「あまりない」と答えました。

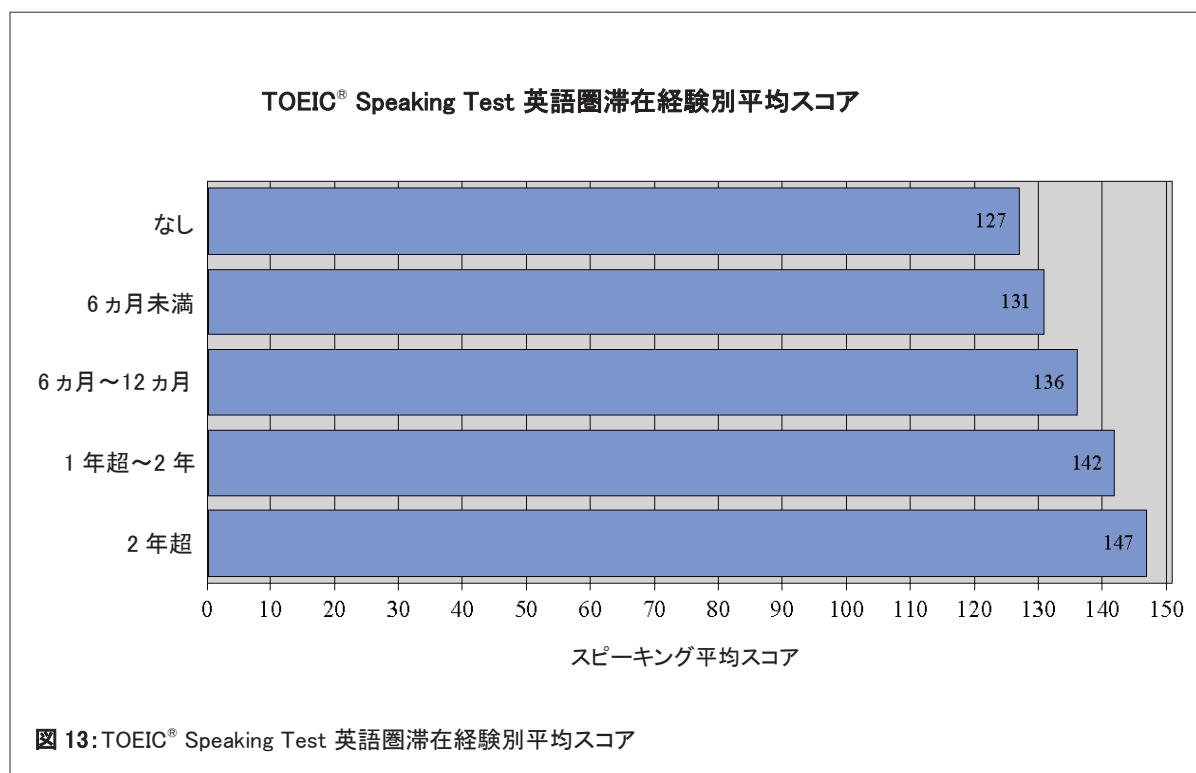
ベトナム（86%）では、「ほとんどない」という回答が大半を占めています。



英語圏滞在経験

「英語を主言語とする国・地域に滞在したことがありますか」という質問に対しては、全体の66%がまったくないと回答し、およそ13%は、6ヵ月以上の滞在経験があると回答しました。

ベトナムおよびエルサルバドル（いずれも98%）、コロンビア（93%）、インドネシアおよびフィリピン（いずれも89%）、香港（88%）、コスタリカ（87%）、メキシコ（79%）、ブラジル（78%）、台湾（76%）、タイ（75%）では、英語圏に滞在した経験がまったくないと回答した受験者が大半を占めました。2年超の滞在経験があると答えた受験者が最も多かったのは米国（69%）でした。



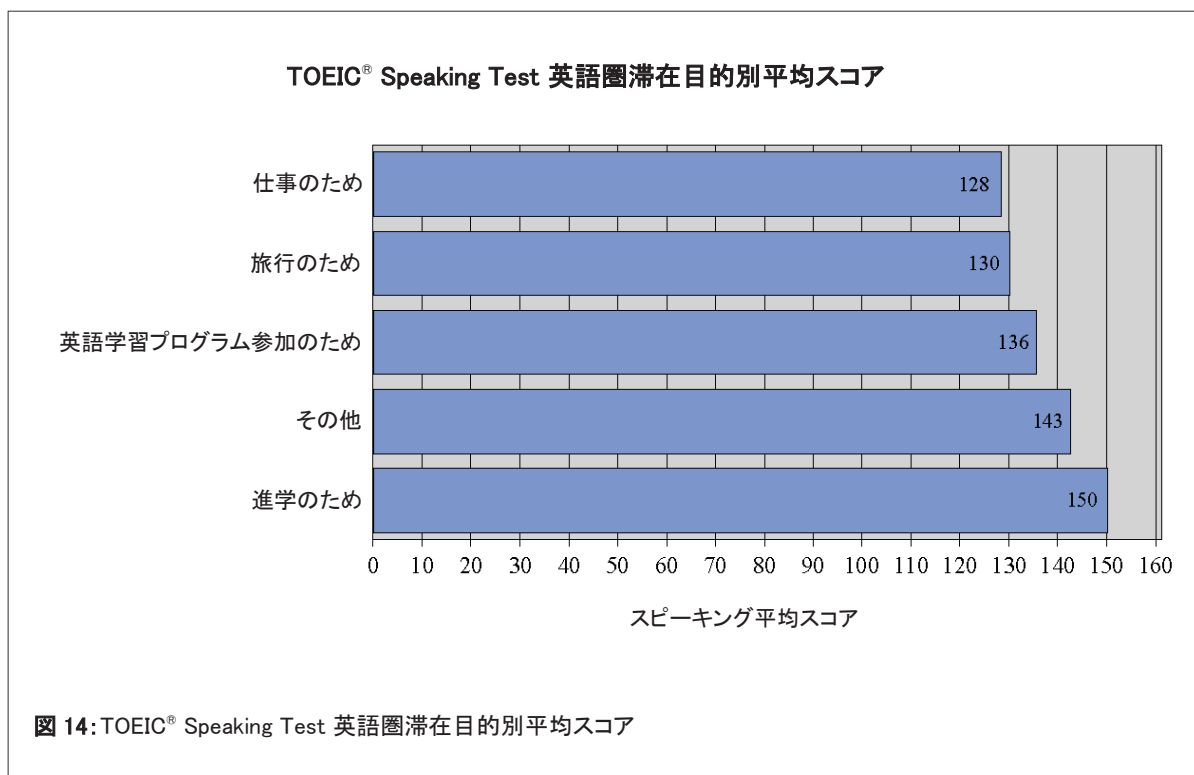
英語圏滞在目的

「英語圏に滞在した主な目的は何でしたか」という質問に対しては、受験者の41%が「旅行のため」、26%が「英語学習プログラム参加のため」と回答しました。

「仕事のため」と答えた受験者の割合が高かったのは、中国（71%）、米国（70%）、インドネシア（61%）、タイ（52%）です。「進学のため」という回答が多かったのは、コロンビア

（100%）とペルー（43%）、「旅行のため」という回答が多かったのは、韓国（44%）とフィリピン（34%）でした。

「英語学習プログラム参加のため」という回答の割合は、男性（21%）よりも女性（32%）、「仕事のため」という回答の割合は、女性（7%）よりも男性（21%）の方が高い結果となりました。

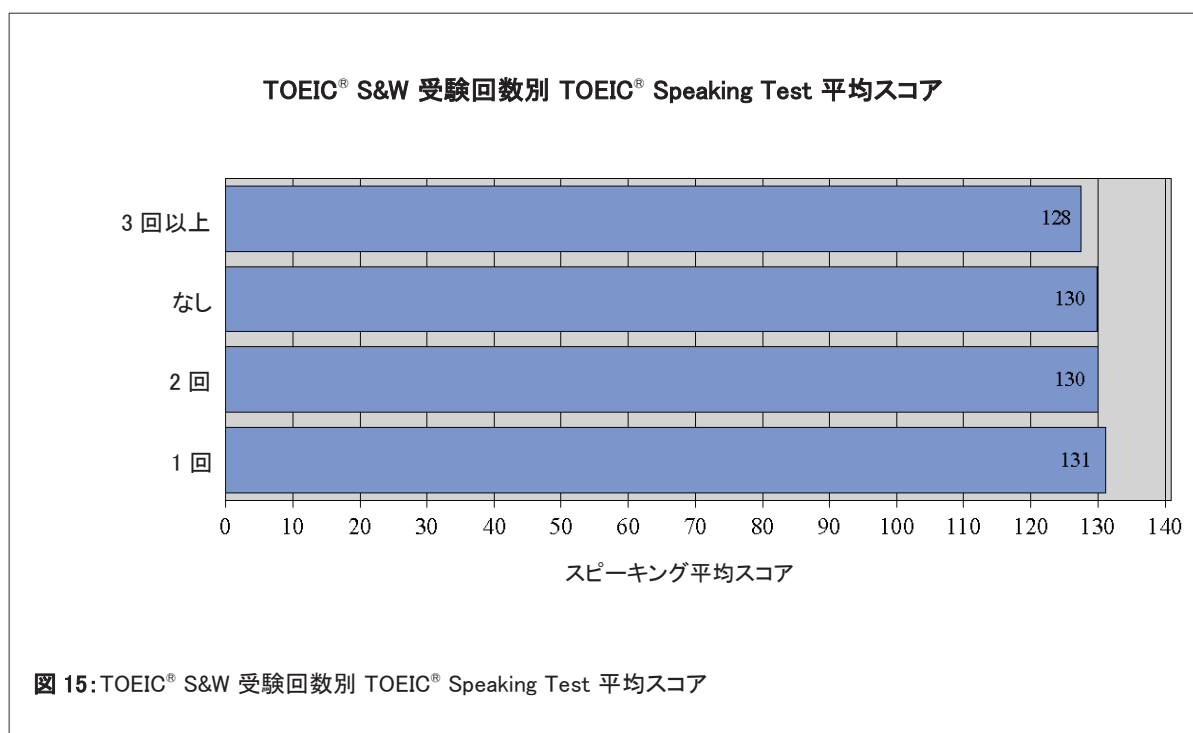


TOEIC® Speaking Test の受験経験

受験者全体の 57%が過去に TOEIC® Speaking Test を受けたことがあると回答し、全体のおよそ 22%は「3 回以上」受験しています。

過去に TOEIC® Speaking Test を受験したことのある受験者の割合は、国・地域によって大きく異なります。受験経験者の割合が低いのはコロンビア（2%）、高いのは中国（73%）でした。

全体で見ると、過去に TOEIC® Speaking Test を受けたことがないと回答した受験者の割合は、男性（41%）よりも女性（46%）の方が高く、過去に「3 回以上」受験したことがあると回答した受験者の割合は、女性（19%）よりも男性（25%）の方が高くなっています。



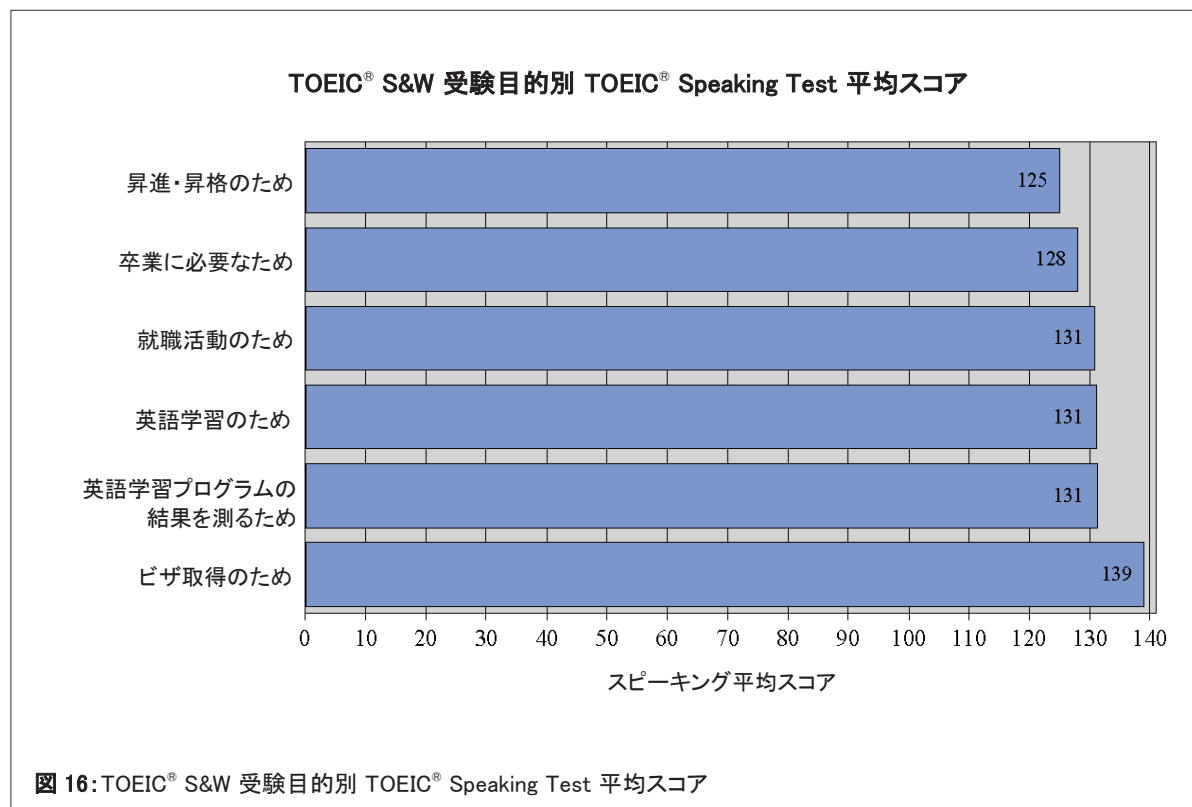
TOEIC® Speaking Test の受験目的

TOEIC® Speaking Test の受験目的として多く挙げられたのは、「就職活動のため」（56%）と「昇進・昇格のため」（16%）です。

「就職活動のため」と回答した受験者が多数を占めたのは、ベトナム（90%）、香港およびブラジル（いずれも 75%）、韓国（58%）、コスタリカ（57%）、米国（53%）、台湾（49%）、中国（46%）です。「英語学習のた

め」という回答が多かったのは日本（47%）でした。「卒業に必要なため」という回答が多かったのは、フィリピン（67%）とエルサルバドル（49%）です。

「就職活動のため」という回答の割合は、男性（49%）よりも女性（63%）、「昇進・昇格のため」という回答の割合は、女性（11%）よりも男性（21%）の方が高くなっています。



2025 年 TOEIC® Writing Test 受験者の特徴

バックグラウンド情報は、公開テストまたは IP テスト（Institutional Program：団体特別受験制度）により 2025 年 TOEIC® Writing Test を受けた受験者（TOEIC® Speaking Test と TOEIC® Writing Test の両方を受けた受験者、TOEIC® Writing Test のみ受けた受験者を含む）全員から収集しました。以下は、バックグラウンドアンケートからわかる TOEIC® Writing Test 受験者の特徴です。受験者の回答率は質問項目によって異なりますのでご注意ください。

- 性別は 53%が女性
- 学歴（最終学歴または受験時在学）で多いのは大学卒または大学在学中（42%）
- 専攻で最も多いのは「教養学」で 47%、「経営学」が 14%、「工学」が 10%
- 59%が「フルタイム勤務者」、27%が「全日制学生」
- 就業者の業種は 21%が「サービス業」、14%が「製造業」
- 職種は 50%が「管理職」、9%が「科学／技術職」、8%が「事務職」
- 53%が 6 年超の英語学習経験あり
- 英語学習において最も重要視する技能としては、26%が「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」を選択
- 日常生活において英語を使用する割合については、20%が「1～10%」と回答
- 最も使用する英語技能としては、46%が「リスニング」、17%が「リーディング」を選択
- 27%は英語でのやりとりに「時々」苦勞すると回答
- 77%は英語圏滞在経験なし
- 英語圏滞在目的としては、48%が「進学のため」または「英語学習プログラム参加のため」と回答
- TOEIC® Writing Test の受験経験については、75%が「なし」と回答
- 受験目的については、48%が「就職活動のため」、21%が「卒業に必要なため」、17%が「英語学習のため」と回答

TOEIC® Writing Test の国・地域別平均スコア

以下の図 17 は、地域別の TOEIC® Writing Test スコアの平均と標準偏差を示しています。次ページの表 3 は、受験者が受験した国・地域別の平均スコアを集計したものです。ただし、受験者が TOEIC® Writing Test を受験した国・地域は、受験者の母国・地域と必ずしも一致しないことにご注意ください。

なお、この表には TOEIC® Writing Test 受験者が 50 名以上の国・地域のみ掲載されています。

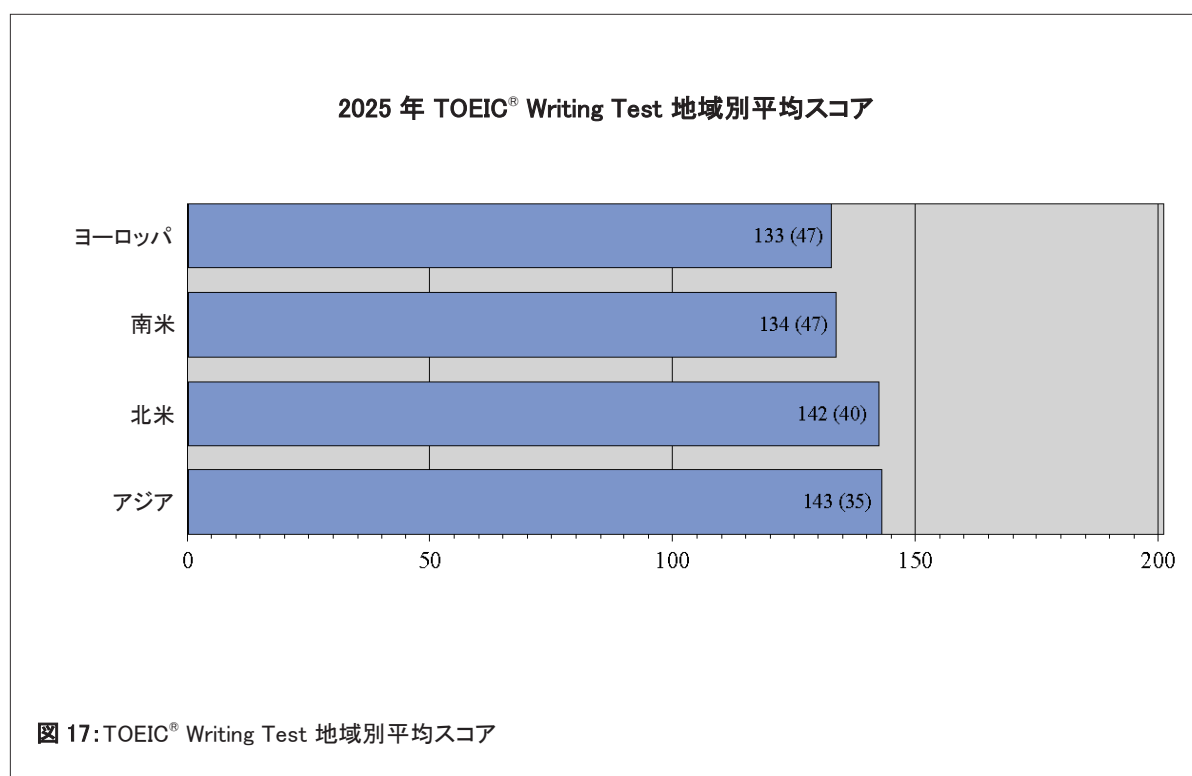


表 3 : TOEIC® Writing Test の国・地域別平均スコア

国・地域	ライティング	
	平均	(SD)*
ブラジル	152	(36)
チリ	150	(28)
中国	141	(36)
コロンビア	106	(53)
コスタリカ	148	(41)
エルサルバドル	148	(28)
フランス	131	(47)
香港	126	(47)
インドネシア	143	(36)
日本	127	(40)
韓国	149	(30)
メキシコ	140	(38)
ペルー	110	(53)
フィリピン	166	(28)
シンガポール	141	(19)
スペイン	157	(32)
台湾	157	(23)
タイ	154	(28)
米国	122	(48)
ベトナム	154	(21)

*SD=標準偏差

TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別集計

表4は、カテゴリー別に分けられた TOEIC® Writing Test 受験者の人数割合（%）と 平均スコアを示しています。各カテゴリーの TOEIC® Writing Test 受験者に関する詳細な情報は表4の後に示されています。

本報告書で使用するカテゴリーは、TOEIC® S&W バックグラウンドアンケートに記載されているカテゴリーです。

表4：TOEIC® Writing Test 受験者のカテゴリー別平均スコア

		受験者割合 (%)	ライティング	
			平均	(SD)*
性別	女性	52.8	153	(28)
	男性	47.2	151	(30)
	その他*			

*注：サンプル数が少ない（50 未満）ため、性別の「その他」については受験者のデータが得られませんでした。

学歴	小学校	29.5	152	(23)
	中学校	0.8	138	(36)
	高校	8.0	138	(36)
	高専	0.6	138	(35)
	専門学校	2.4	143	(31)
	短大	2.4	134	(35)
	大学	42.0	150	(27)
	大学院	13.4	153	(25)
	語学学校	0.9	146	(34)

専攻科目	教養学	47.0	152	(25)
	社会学	7.5	150	(26)
	経営学	13.5	152	(27)
	科学	8.2	148	(28)
	医療関連	4.7	151	(27)
	工学	10.3	145	(29)
	その他	8.9	140	(35)

*SD=標準偏差

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者の
カテゴリー別平均スコア（続き）

		受験者 割合 (%)	ライティング	
			平均	(SD)*
就業状況	フルタイム勤務者	59.3	150	(27)
	パートタイム勤務者	6.5	152	(31)
	非就業者	7.7	157	(28)
	全日制学生	26.6	153	(32)
業種	農業	44.8	152	(23)
	建設	1.0	147	(31)
	食品	1.0	145	(30)
	医薬品	0.9	152	(23)
	化学	0.9	145	(23)
	繊維*			
	石油	0.3	153	(20)
	金属	0.9	136	(33)
	機械	2.1	138	(31)
	電機	3.5	144	(30)
	自動車	1.4	142	(32)
	ガラス*			
	アパレル	1.4	145	(31)
	その他製造	1.5	143	(31)
	教育機関（高校以下）	4.1	155	(30)
	教育機関（大学以上）	2.2	159	(31)

*SD=標準偏差

*注：サンプル数が少ない（50 未満）ため、業種の「繊維」と「ガラス」については受験者のデータが得られませんでした。

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者の
カテゴリー別平均スコア（続き）

		受験者 割合 (%)	ライティング	
			平均	(SD)*
業種（続き）	政府／役所／公益団体	2.8	149	(28)
	国際団体	0.3	159	(34)
	軍隊／自衛隊	1.8	145	(27)
	医療	2.6	152	(26)
	旅行	1.6	149	(28)
	その他サービス	5.6	150	(30)
	公共事業（電気／水）	0.6	154	(24)
	マスコミ	0.8	158	(24)
	通信	1.3	151	(26)
	小売／卸し	1.0	151	(27)
	商社	1.8	145	(31)
	金融	3.9	152	(29)
	保険	0.5	150	(22)
	不動産	0.5	147	(32)
	運輸	2.2	152	(24)
	その他	6.6	150	(33)
職種	管理職	49.7	152	(24)
	科学／技術職	9.4	148	(27)
	教師／講師	6.8	156	(31)
	専門職	6.0	152	(28)
	技術者	2.8	139	(32)
	マーケティング／販売	6.2	147	(29)
	事務職	7.5	146	(29)
	サービス業	4.8	153	(26)
	その他	7.0	146	(33)
英語学習期間	4 年以下	39.8	148	(28)
	4 年超～6 年	6.9	145	(32)
	6 年超～10 年	13.0	152	(28)
	10 年超	40.4	159	(26)

*SD=標準偏差

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者の
カテゴリー別平均スコア（続き）

		受験者 割合 (%)	ライティング	
			平均	(SD)*
最も重要視する言語技能	リスニング	39.0	151	(25)
	リーディング	8.2	150	(34)
	スピーキング	10.2	147	(30)
	ライティング	1.6	149	(34)
	リスニング&スピーキング	11.2	150	(29)
	リーディング&ライティング	4.3	162	(29)
	リスニング、リーディング、スピーキング& ライティング	25.6	158	(28)
日常生活での英語 使用率	なし	35.4	150	(26)
	1～10%	20.2	147	(31)
	11～20%	19.4	154	(28)
	21～50%	16.6	159	(27)
	51～100%	8.5	166	(27)
最も使用する英語技能	リスニング	45.8	152	(25)
	リーディング	17.1	153	(30)
	スピーキング	7.7	148	(31)
	ライティング	2.6	151	(31)
	リスニング&スピーキング	8.3	151	(30)
	リーディング&ライティング	6.2	158	(28)
	リスニング、リーディング、スピーキング& ライティング	12.3	158	(30)
英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	ほとんどない	43.7	155	(26)
	あまりない	18.8	158	(26)
	時々	27.2	152	(28)
	頻繁にある	7.5	142	(31)
	ほぼ常時	2.8	133	(39)

*SD=標準偏差

表 4 : TOEIC® Writing Test 受験者の
カテゴリー別平均スコア（続き）

		受験者 割合 (%)	ライティング	
			平均	(SD)*
英語圏滞在期間	なし	77.0	153	(28)
	6 ヶ月未満	11.9	149	(29)
	6 ヶ月～12 ヶ月	3.9	154	(26)
	1 年超～2 年	2.2	155	(28)
	2 年超	5.0	161	(29)
英語圏滞在目的	進学のため	26.9	159	(27)
	英語学習プログラム参加のため	21.2	150	(27)
	旅行のため	20.9	149	(30)
	仕事のため	20.4	149	(31)
	その他	10.6	160	(28)
TOEIC® S&W 受験回数	なし	74.7	152	(29)
	1 回	12.4	151	(29)
	2 回	5.0	150	(29)
	3 回以上	7.9	150	(27)
TOEIC® S&W 受験目的	就職活動のため	47.6	153	(25)
	昇進・昇格のため	7.3	141	(32)
	英語学習プログラムの結果を測るため	6.9	146	(31)
	英語学習のため	17.3	149	(29)
	卒業に必要なため	20.6	154	(33)
	ビザ取得のため	0.2	155	(20)

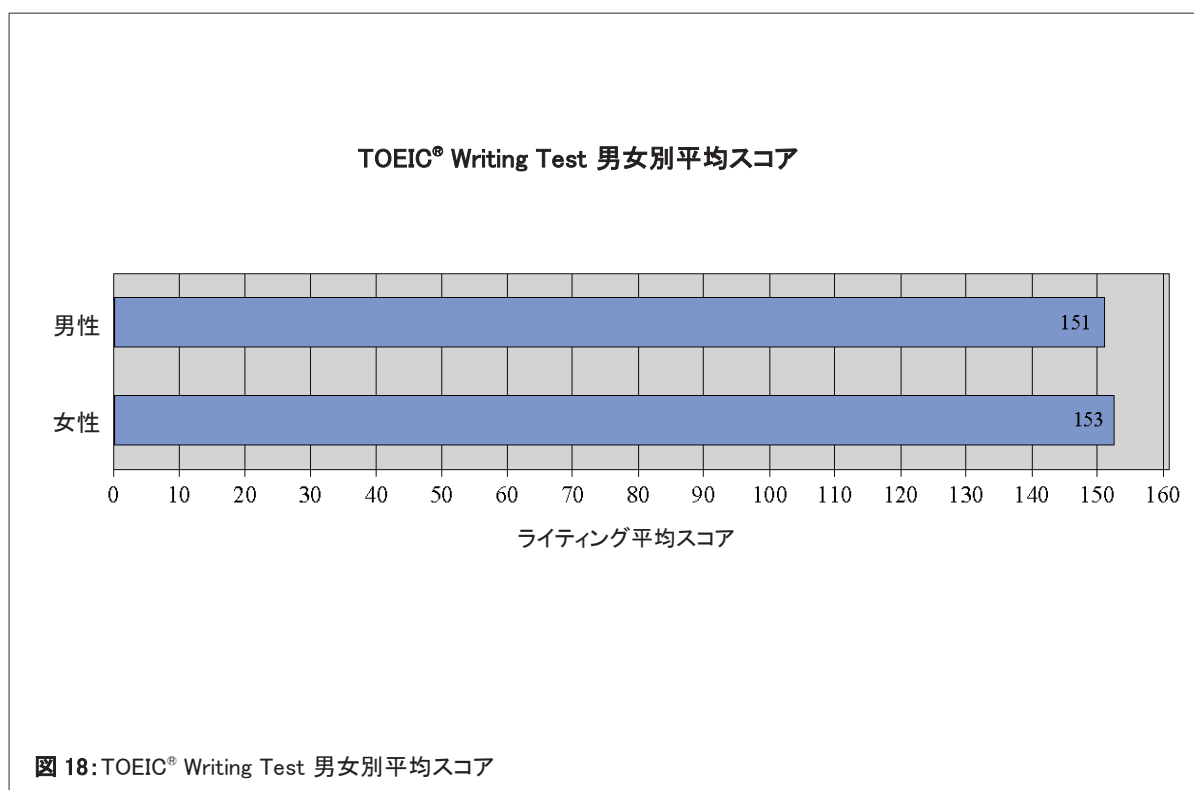
*SD=標準偏差

性別

全体で見ると、TOEIC® Writing Test 受験者は、男性（47%）よりも女性（53%）の割合が高くなっています（表 4 参照）。女性の受験者の割合が高かった国・地域は、コロンビア（75%）、ベトナム、香港、エルサルバドル（いずれも 64%）、コスタリカ（60%）、タイ（54%）、米国（53%）、スペイン（51%）です。

一方、男性の受験者の割合が高かったのは、韓国（62%）、メキシコ、ペルー、台湾（いずれも 56%）、チリ、インドネシア、シンガポール（いずれも 55%）、日本（54%）、ブラジル（52%）、中国およびフランス（いずれも 51%）です。

図 18 が示すように、TOEIC® Writing Test の平均スコアでは女性が男性を若干上回りました。



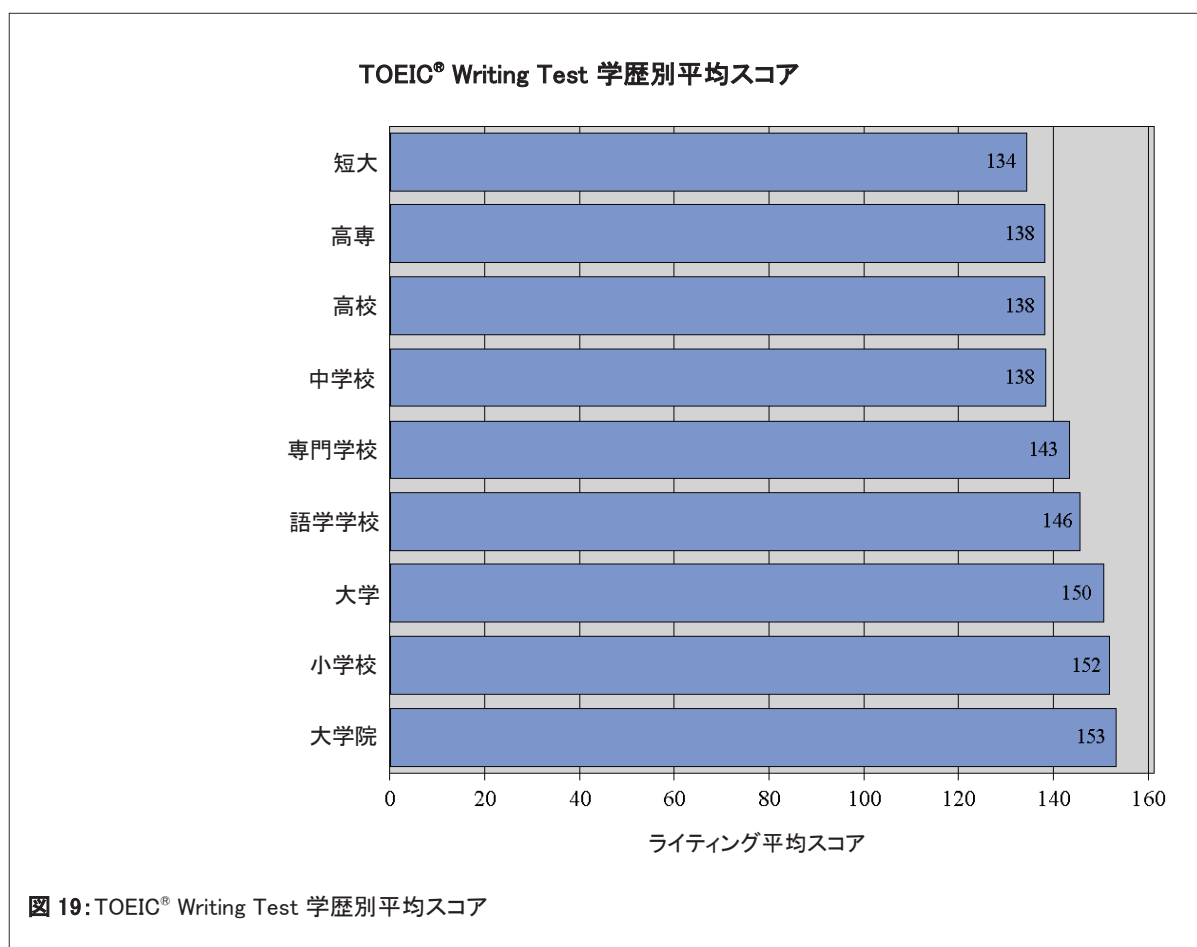
*注：サンプル数が少ない（50 未満）ため、性別の「その他」については平均スコアのデータが得られませんでした。

学歴

多くの受験者（42%）は、バックグラウンドアンケート回答時点の学歴が大学卒（学士取得）または大学在学中でした。国・地域によって教育システムが異なるため、学歴について一律に比較することはできませんが、チリ（100%）、フィリピン（86%）、韓国（72%）、日本（58%）、タイ（52%）、台湾（51%）、中国（43%）では、大学卒または大

学在学中の受験者の割合が高いことがわかります。一部の国・地域では、小学校卒の受験者が大半を占めました。ベトナム（75%）、香港（54%）などがそうです。

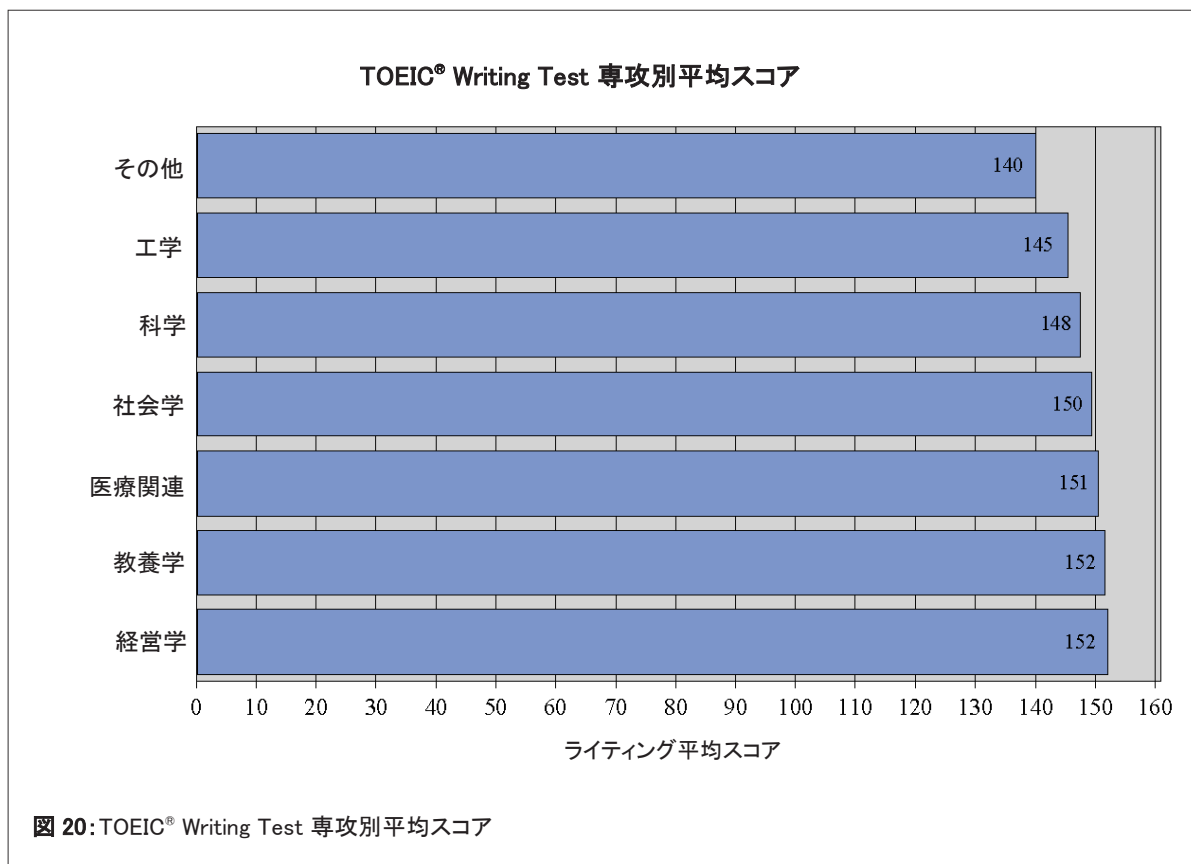
全体で見ると、大学・大学院卒または大学・大学院在学中の受験者の割合は、女性（48%）よりも男性（64%）の方が高くなっています。



専攻科目

全体で見ると、受験者の専攻科目で最も多かったのは「教養学」（47%）です。「教養学」専攻の受験者が大半を占めたのは、スペイン（100%）、ベトナム（81%）、香港（61%）、「工学」専攻の受験者が多数を占めたのは韓国（36%）です。

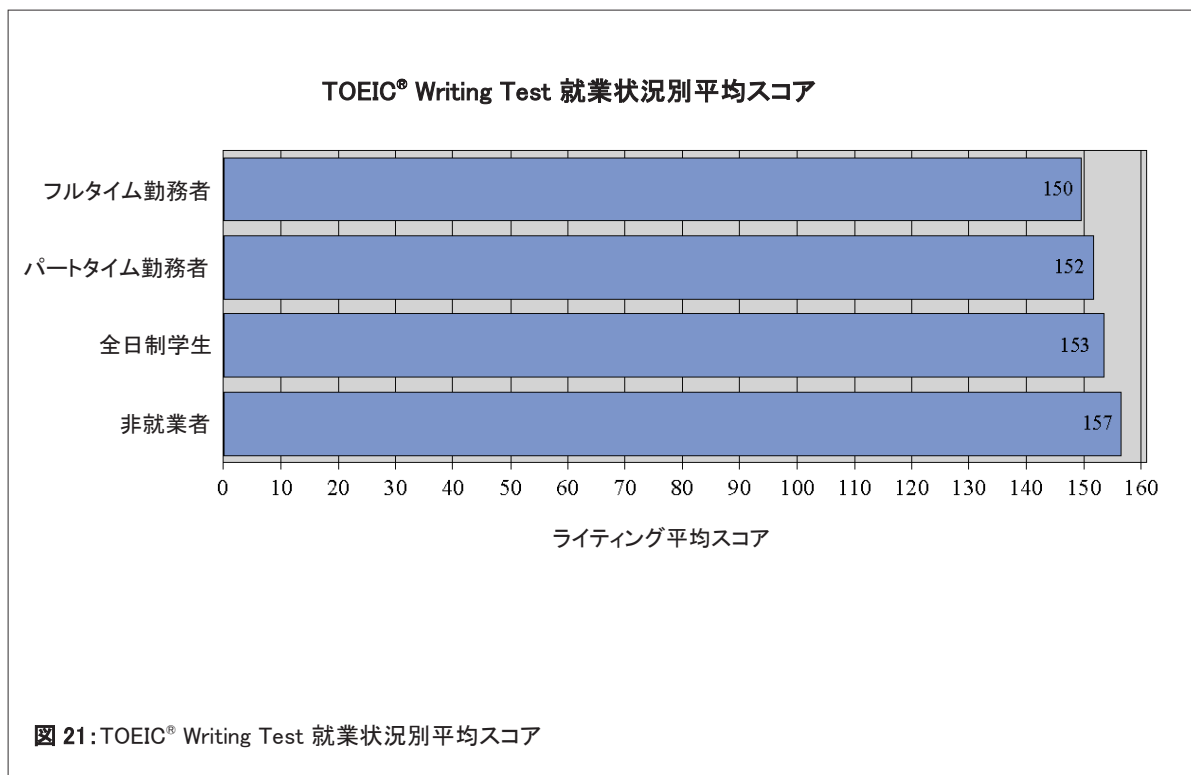
全体で見ると、「教養学」専攻については男性（34%）よりも女性（59%）、「工学」および「科学」専攻については女性（8%）よりも男性（30%）の方が高い結果となりました。



就業状況

全体で見ると、TOEIC® Writing Test 受験者の多くは「フルタイム勤務者」（59%）でした。「フルタイム勤務者」の割合は、中国（95%）、ペルー（93%）、香港（92%）、コロンビアおよびベトナム（いずれも91%）、タイ（90%）、メキシコ（84%）、チリ（78%）、ブラジル（68%）、韓国（60%）、米国（57%）、日本（54%）などで高くなっています。

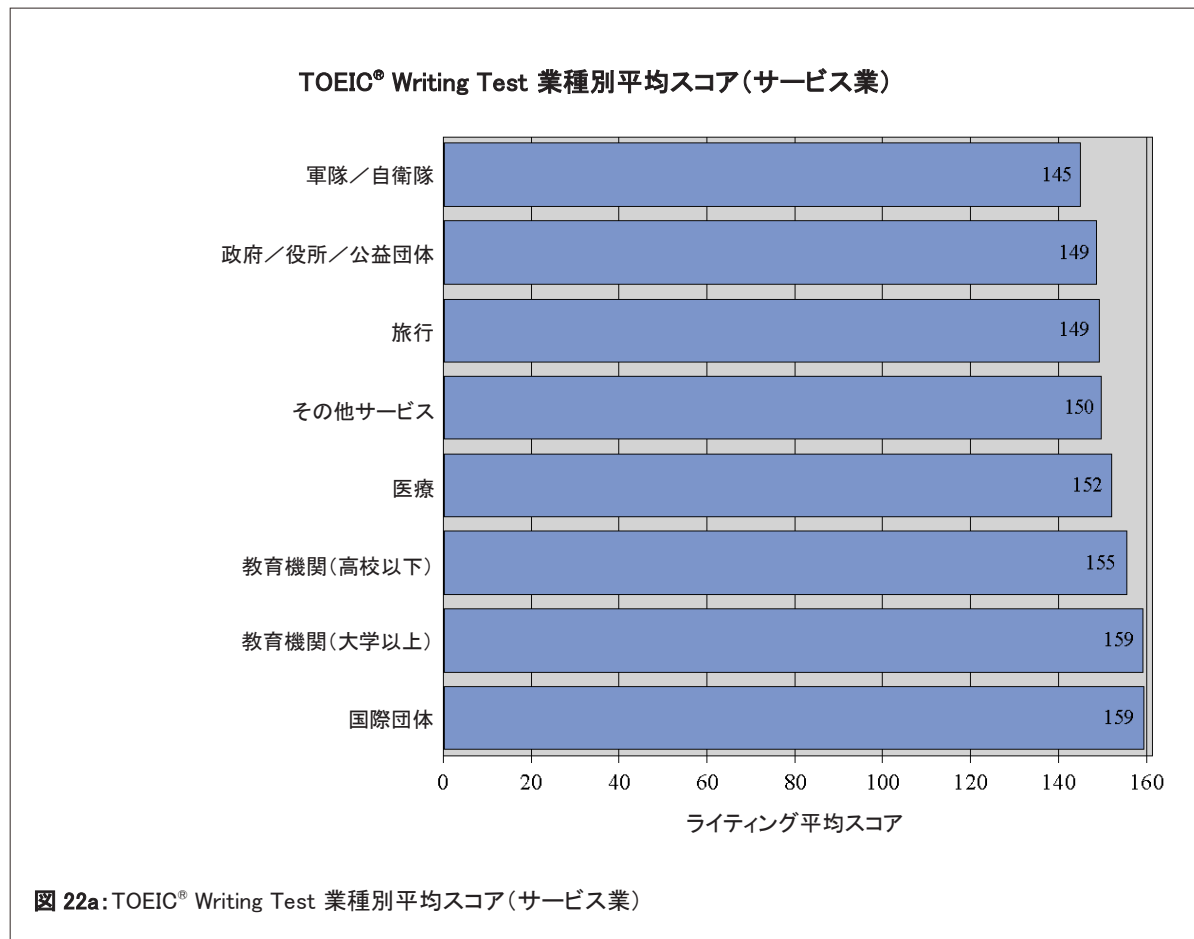
受験者の27%は「全日制学生」でした。「全日制学生」の受験者が大半を占めていたのは、エルサルバドル（95%）、フィリピン（81%）、シンガポール（75%）です。

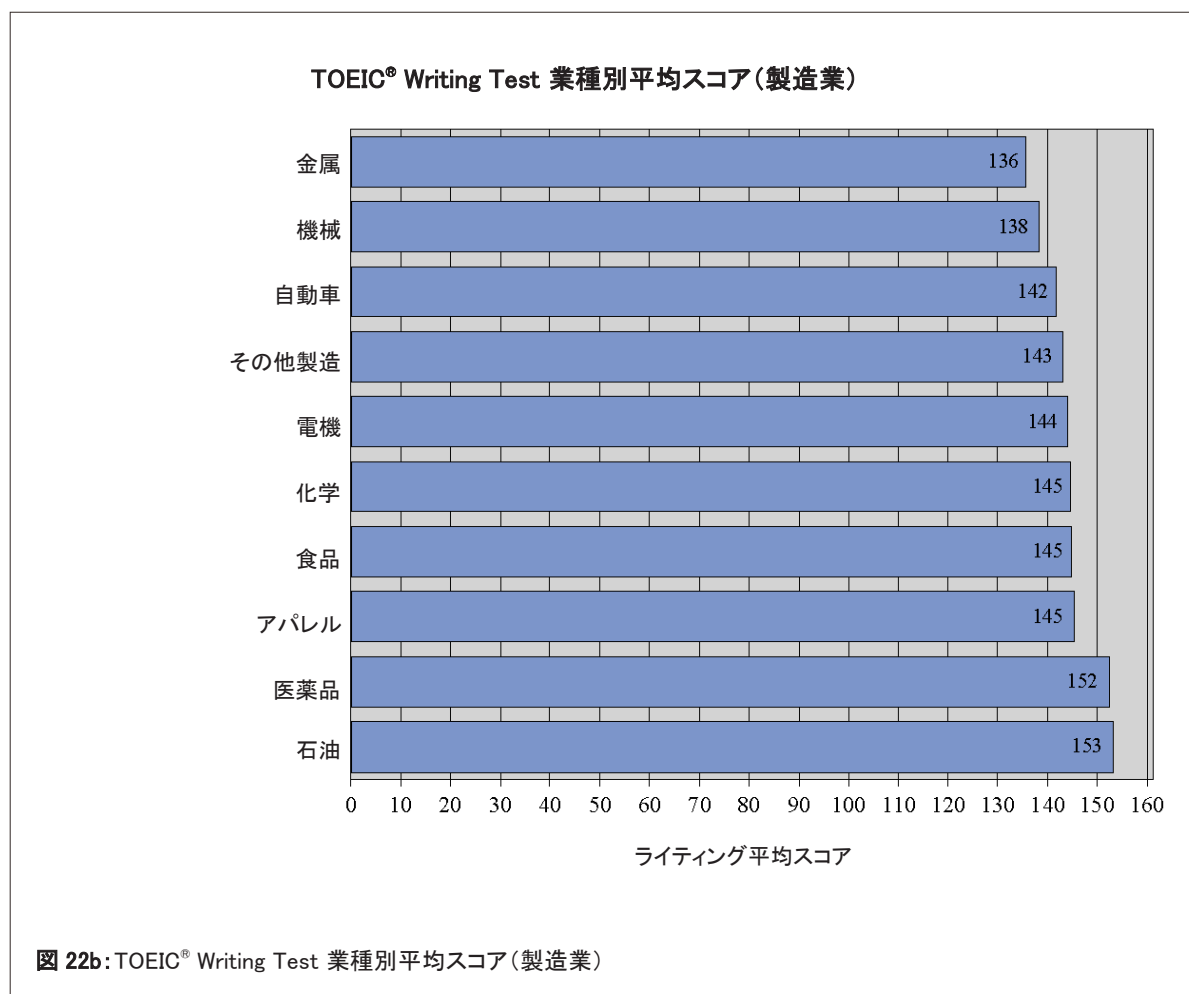


業種

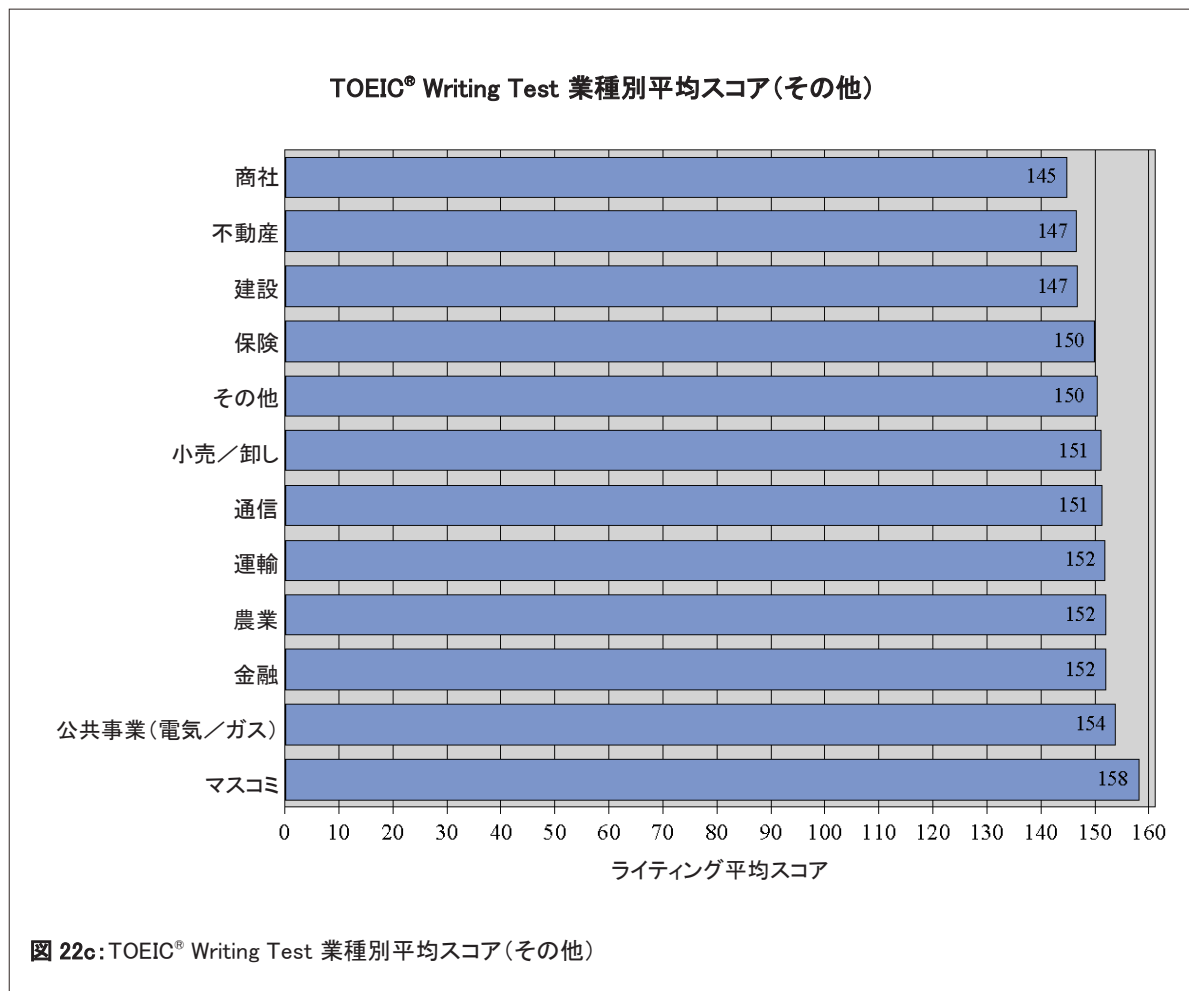
表4に見られるように、フルタイム勤務者の45%は「農業」、35%は「製造業」または「サービス業」に従事しています。

図22a（サービス業）、図22b（製造業）、図22c（サービス業と製造業以外）は、TOEIC® Writing Test の平均スコアを業種別に示したものです。





*注：サンプル数が少ない（50 未満）ため、業種の「繊維」と「ガラス」については平均スコアのデータが得られませんでした。



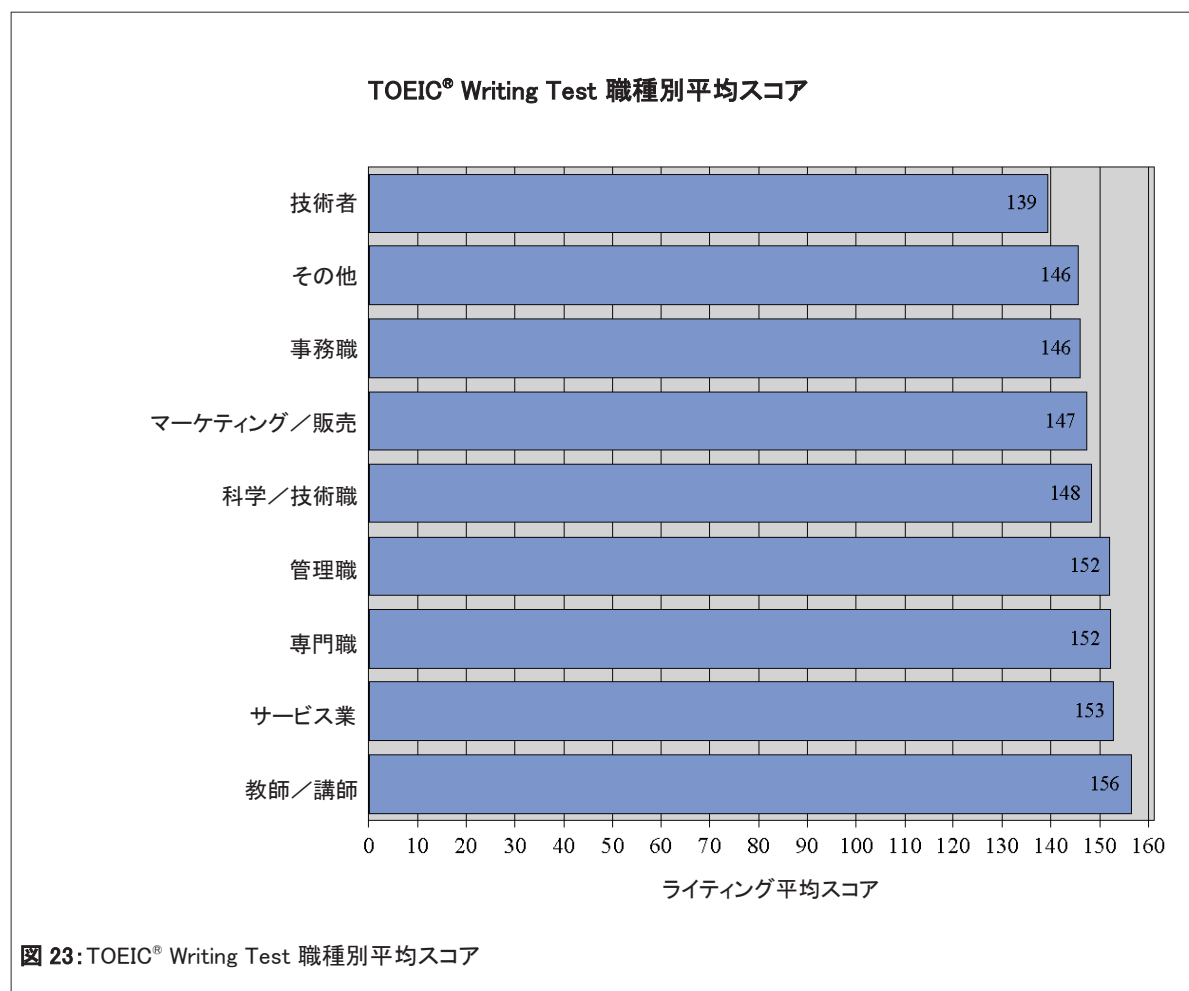
職種

受験者の職種は、国・地域によって大きく異なります。全体で見ると、「管理職」（50%）、「科学／技術職」（9%）、「事務職」（8%）、「教師／講師」（7%）が上位を占めました。

「管理職」の割合は、ベトナム（87%）と香港（60%）で高くなっています。

「事務職」の割合が高かったのは韓国（35%）、「教師／講師」の割合が高かったのは、コロンビア（98%）とエルサルバドル（50%）でした。

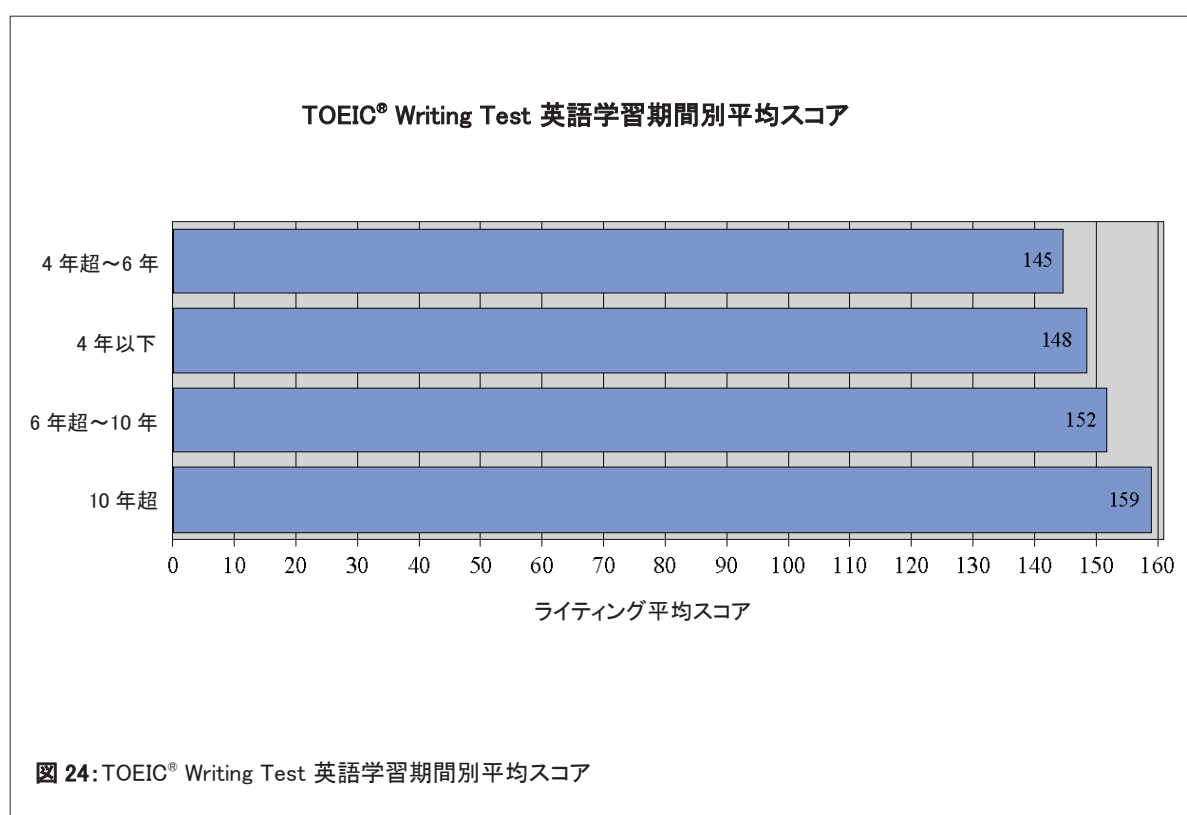
全体で見ると、「管理職」の割合は、男性（40%）よりも女性（58%）、「科学／技術職」の割合は、女性（4%）よりも男性（15%）の方が高い結果となりました。



英語学習期間

2025 年は受験者の 53%が「6 年超」の英語学習期間があると回答しました。一方、エルサルバドル（96%）、ベトナム（88%）、香港（68%）、ペルー（51%）では、英語学習期間が「4 年以下」の受験者が高い割合を占めています。

全体で見ると、英語学習期間が「4 年以下」の受験者の割合は、男性（33%）よりも女性（46%）、「10 年超」の受験者の割合は、女性（37%）よりも男性（45%）の方が高い結果となりました。



英語学習の際に最も重要視する言語技能

英語学習期間についての質問の後に、最も重要視する英語の技能について尋ねました。全体の26%は、学習の際に英語の4技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）を重要視すると回答しています。コロンビア（81%）、エルサルバドル（70%）、韓国（53%）では、4技能すべてを重要視するという回答が高い割合を占めています。

一方、最も重要視する言語技能として「リスニング」を挙げた受験者が多数を占めたのは、ベトナム（87%）と香港（61%）でした。

全体で見ると、最も重要視する言語技能として「リスニング」を挙げた受験者の割合は、男性（32%）よりも女性（45%）の方が高い結果となりました。

TOEIC® Writing Test 最も重要視する言語技能別平均スコア

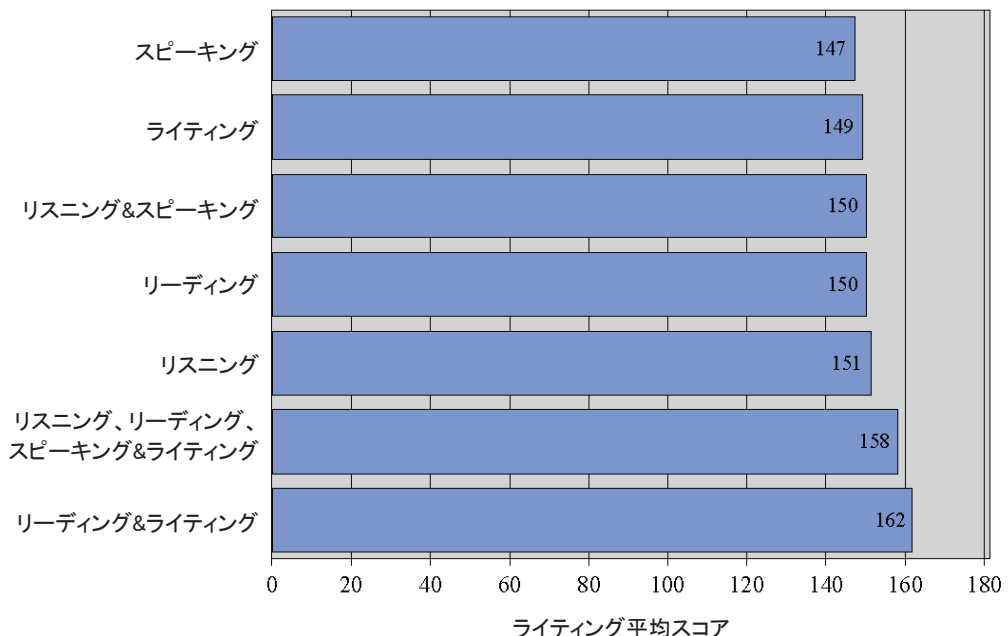


図 25: TOEIC® Writing Test 最も重要視する言語技能別平均スコア

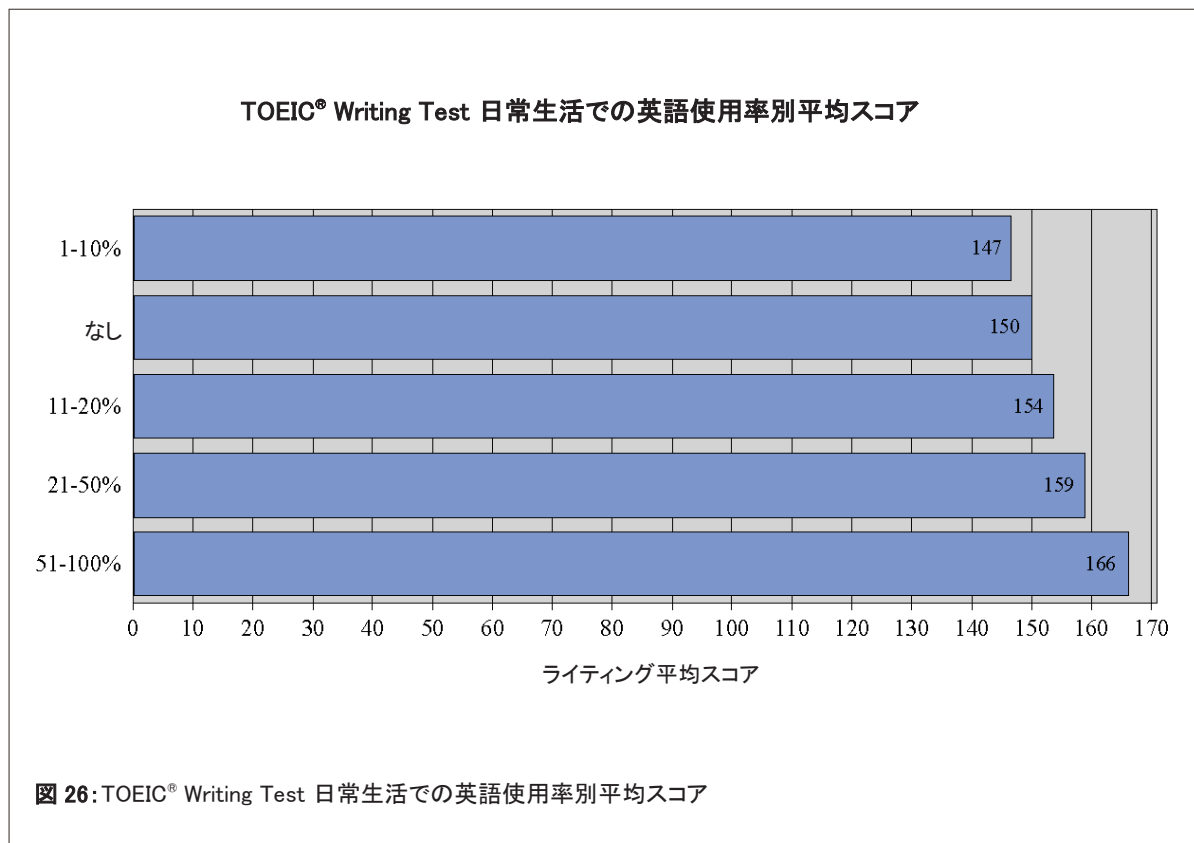
日常生活での英語使用率

「日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者全体の20%が「1～10%」と回答しました。この回答は、シンガポール（56%）、ペルー（48%）、中国（41%）、日本（40%）などで特に挙げられています。

日常生活において英語を使用しないという回答が大半を占めたのはベトナム（84%）でした。

「51～100%」の割合で英語を使用するという回答の割合が高かったのは、コロンビア（62%）と米国（44%）です。

全体で見ると、日常生活において英語を使用しないと回答した受験者の割合は、男性（28%）よりも女性（42%）の方が高い結果となりました。



最も使用する言語技能

受験者全体の46%は、最も使用する英語技能として「リスニング」を挙げています。「リスニング」を挙げた受験者が多かった国・地域は、ベトナム（87%）、香港（61%）、タイ（35%）、日本（32%）です。受験者全体の17%は、最も使用する技能として「リーディング」を挙げています。「リーディング」を挙げた受験者が多かった国・地域は、ペルー（46%）、台湾（33%）などです。

受験者全体の12%は、4技能すべて（「リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング」）を使用していると回答しました。コロンビア（77%）、エルサルバドル（59%）、フィリピンおよび韓国（いずれも26%）では、4技能すべてを使用していると回答した受験者が多数を占めています。

TOEIC® Writing Test 最も使用する英語技能別平均スコア

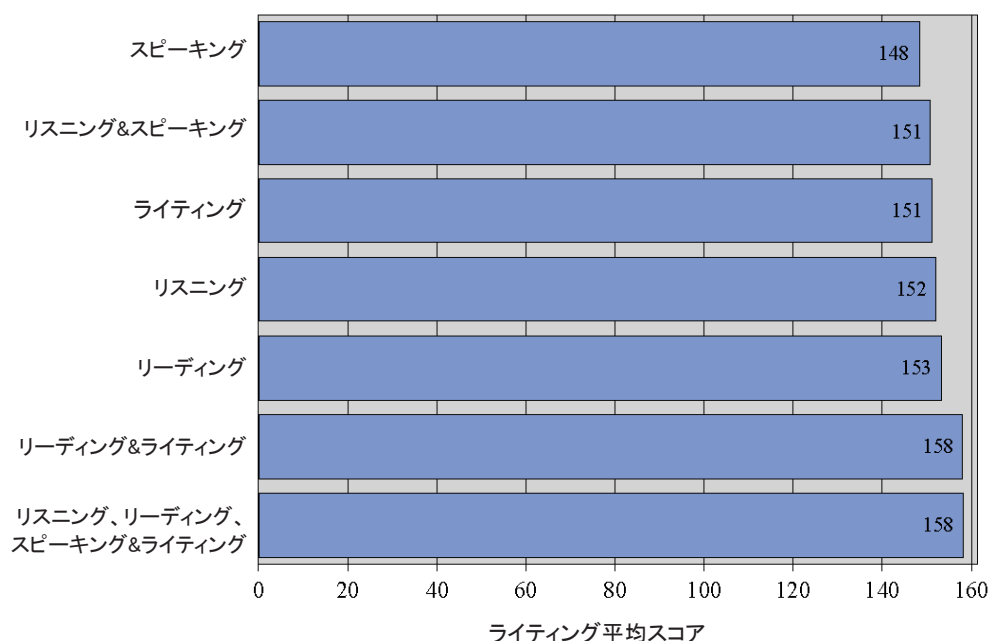
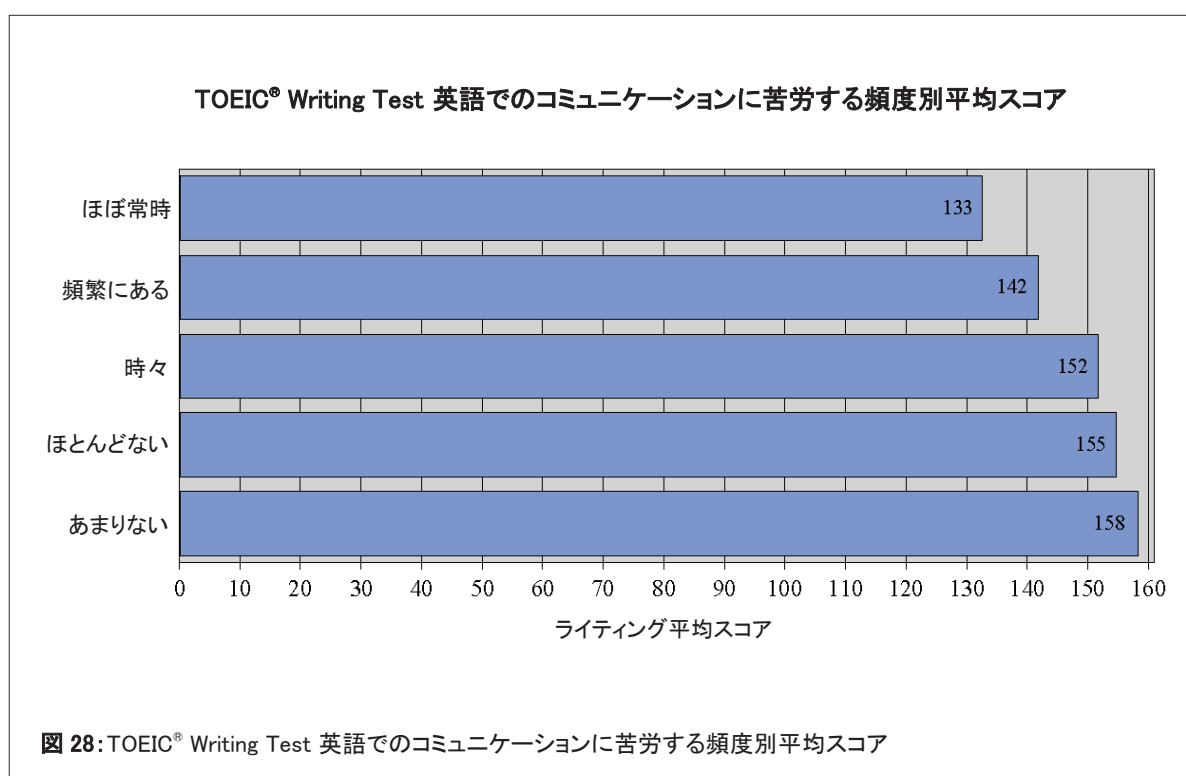


図 27: TOEIC® Writing Test 最も使用する英語技能別平均スコア

英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度

「英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか」という質問に対しては、受験者全体の44%が「ほとんどない」、27%が「時々」、19%が「あまりない」と答えました。

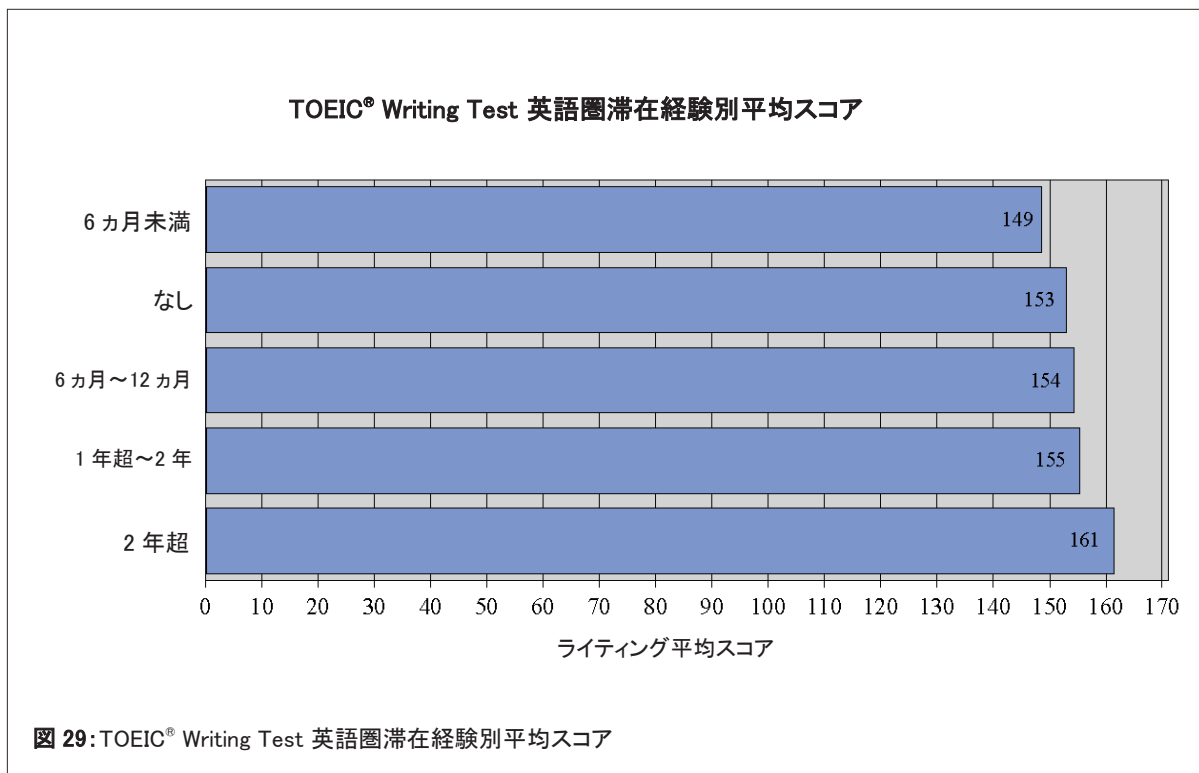
ベトナム（86%）、コロンビア（73%）、香港（64%）では、「ほとんどない」という回答が大半を占めています。



英語圏滞在経験

「英語を主言語とする国・地域に滞在したことがありますか」という質問に対しては、6ヵ月以上の滞在経験があると回答した受験者は全体の11%にとどまり、77%は滞在経験がまったくないと回答しています。

2年超の滞在経験があると答えた受験者が最も多かったのは米国（71%）でした。



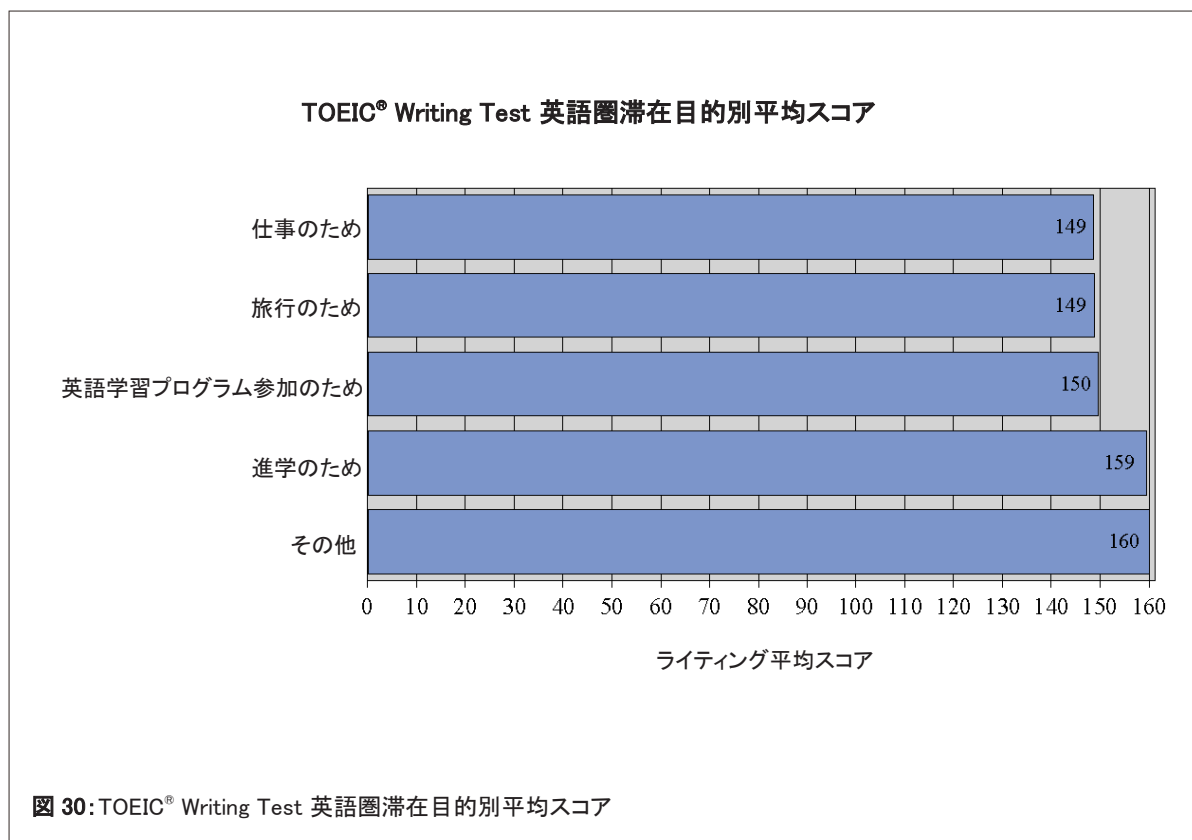
英語圏滞在目的

「英語圏に滞在した主な目的は何でしたか」という質問に対しては、受験者の48%が「進学のため」または「英語学習プログラム参加のため」と回答しました。

「進学のため」と答えた割合が高かったのは、コロンビア（100%）、中国（47%）、ペルー（43%）、ベトナム（41%）、台湾（39%）です。「旅行のため」という回答が多かったの

は、フィリピン（34%）と韓国（33%）、「仕事のため」という回答が多かったのは、米国（79%）とタイ（44%）です。

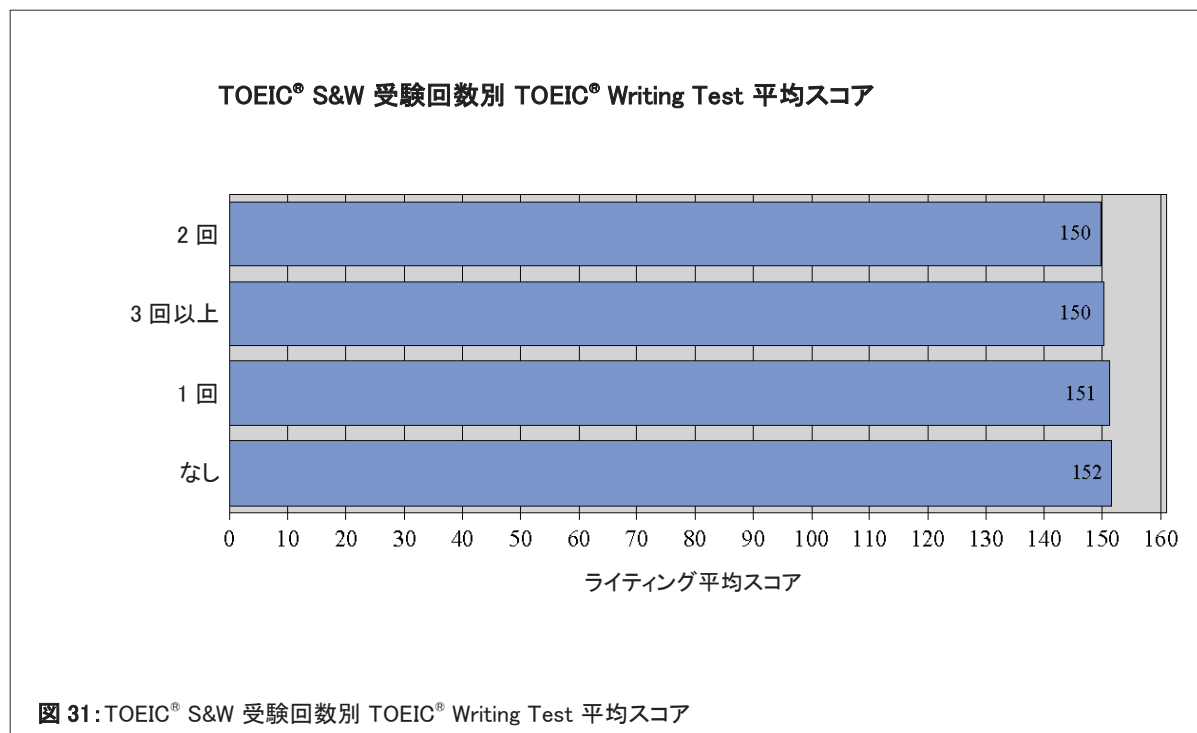
「英語学習プログラム参加のため」という回答の割合は、男性（17%）よりも女性（26%）、「仕事のため」という回答の割合は、女性（14%）よりも男性（26%）の方が高い結果となりました。



TOEIC® Writing Test の受験経験

過去に TOEIC® Writing Test を受験したことがある受験者の割合は、国・地域によって大きく異なります。受験経験者の割合が低いのはコロンビア（2%）、高いのは米国（61%）でした。

全体で見ると、過去に TOEIC® Writing Test を受けたことがないと回答した受験者の割合は、男性（70%）よりも女性（79%）の方が高く、過去に「3 回以上」受験したことがあると回答した受験者の割合は、女性（6%）よりも男性（10%）の方が高くなっています。

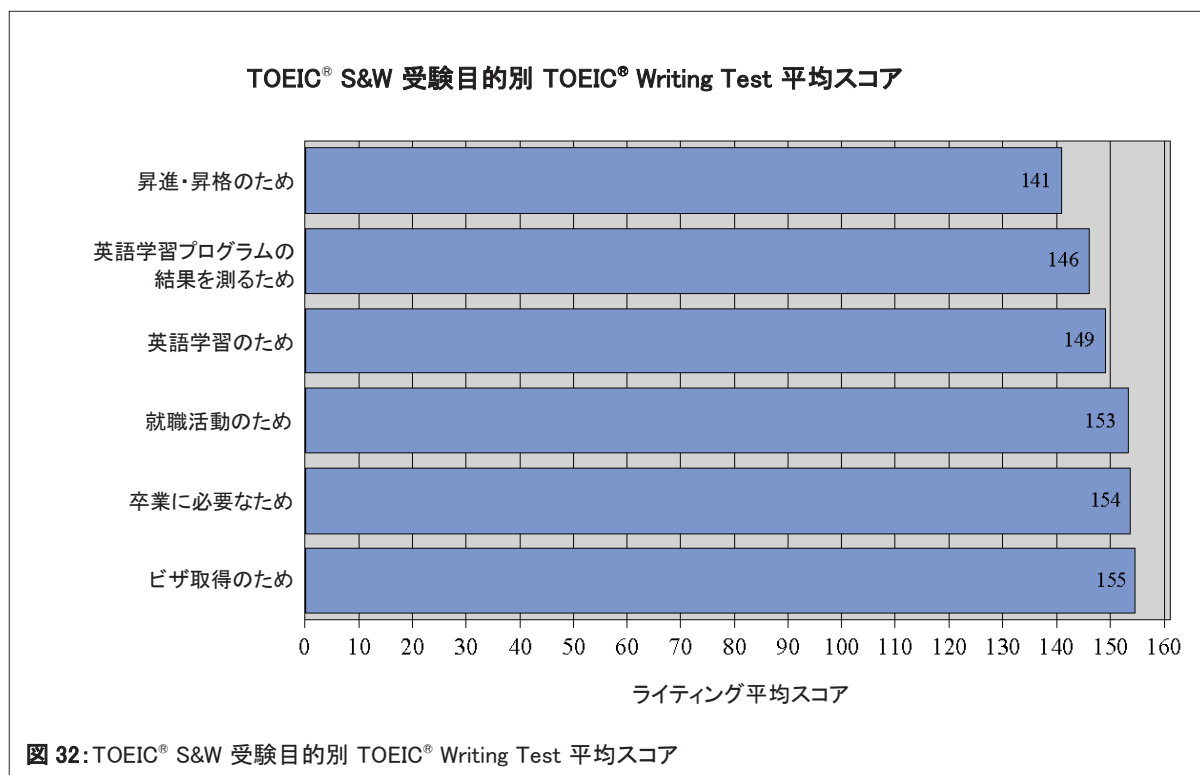


TOEIC® Writing Test の受験目的

TOEIC® Writing Test の受験目的として多く挙げられたのは、「就職活動のため」(48%)、「卒業に必要なため」(21%)、「英語学習のため」(17%)です。「就職活動のため」と回答した受験者が多数を占めたのは、ベトナム(90%)、香港(75%)、ブラジル(69%)、台湾(54%)、米国および中国(いずれも49%)です。

「昇進・昇格のため」という回答が多かったのは、韓国およびメキシコ(いずれも33%)でした。日本では、「英語学習のため」と答えた受験者が45%を占めています。

「昇進・昇格のため」という回答の割合は、女性(5%)よりも男性(9%)、「就職活動のため」という回答の割合は、男性(44%)よりも女性(51%)の方が高くなっています。



TOEIC® S&W スピーキングとライティングのスコアの関係

TOEIC® Speaking Test と TOEIC® Writing Test のスコア間の相関値は、2025 年に両方のテストを受けた受験者のデータに基づく計算によると、約 0.66 でした(本資料 58 ページ「資料 C」に、地域別のスピーキングとライティングのスコアの相関値を掲載)。

これは 2 つの評価尺度の間に中程度の相関関係があることを示しています。TOEIC® Speaking Test と TOEIC® Writing Test は、いずれもビジネスコミュニケーションにおける英語の習熟度を測定するものですが、両テストではそれぞれ異なる言語技能を測定しています。



バックグラウンドアンケート

以下の質問と選択肢を読み、最も当てはまるものを選んでください。各質問に対し、回答は1つのみです。

セクション I.

学歴／職歴

1. 現在在学中の学校または最終学歴を選んでください。
 - A. 小学校
 - B. 中学校
 - C. 大学進学向け高校またはそれと同等のレベル（高校）
 - D. 専門学校／高専
 - E. 専門学校／高専（高校卒業後）
 - F. コミュニティカレッジ／短大（短期大学士）
 - G. 大学（学士号）
 - H. 大学院（修士号または博士号）
 - I. 語学学校
2. 現在専攻している、または最終学歴で専攻した科目を選んでください。
（カッコ内記載の科目は例）
 - A. 教養学（教育、美術、言語、文学、音楽、心理学）
 - B. 社会／法律（国際学、法律、政治、社会学）
 - C. 会計／経営／経済
 - D. 財務／マーケティング／貿易
 - E. 科学（農業、コンピュータサイエンス、数学、物理、統計）
 - F. 保健（医療、看護、薬品、公衆衛生）
 - G. 工学／建築
 - H. その他／なし
3. 次の就業状況で最も近いものはどれですか。
 - A. フルタイム勤務者（個人事業主を含む）
 - B. パートタイム勤務者、定時・夜間制の学生
 - C. 無職（質問 6 へ）
 - D. 全日制学生（質問 6 へ）

4. 現在就職中の方にお尋ねします。あなたの雇用主の事業は、次のどれが最も近いですか。
 01. 農業／漁業／林業／鉱業
 02. 建築／ビル設計
 03. 製造 - 食品
 04. 製造 - 薬品
 05. 製造 - 化学
 06. 製造 - 繊維／紙
 07. 製造 - 石油／原油／ゴム
 08. 製造 - 鋼鉄／その他金属
 09. 製造 - 機械／精密機械
 10. 製造 - 電機
 11. 製造 - 自動車（あらゆる輸送手段を含む）
 12. 製造 - セメント／ガラス
 13. 製造 - 衣服
 14. 製造 - その他
 15. サービス - 教育（高校レベル以下）
 16. サービス - 教育（短大・カレッジ以上、評価、研究）
 17. サービス - 裁判／法規／地方／県
 18. サービス - 外務
 19. サービス - 軍隊／自衛隊
 20. サービス - 保健／病院／医療研究
 21. サービス - ホテル／娯楽／レストラン／旅行
 22. サービス - その他
 23. 公共事業（電気／水）
 24. 放送／マスメディア
 25. 通信
 26. 小売／卸売
 27. 商社
 28. 会計／銀行／財務／セキュリティ
 29. 保険
 30. 不動産
 31. 運輸
 32. その他
5. 現在就職中の方にお尋ねします。次の職種で最も近いものはどれですか。
（カッコ内記載の職種は例）
 - A. 管理職（役員、経営者、取締役）
 - B. 科学／技術専門職（エンジニア、数学者、プログラマー、研究者、科学者）
 - C. 教師／講師
 - D. 専門職（会計士、ブローカー、財務専門家、弁護士）

資料 A (続き)



バックグラウンドアンケート - ページ 2

- E. 作業技師（大工、電気技師、設備操作員、配管工）
- F. マーケティング／販売（為替仲買人、マーケティングアナリスト、不動産代理人、販売代理人、旅行代理人）
- G. 事務／総務職（オフィススタッフ、受付員、秘書）
- H. サービス（カスタマーサービス担当、人事担当、ホテルスタッフ、広告・宣伝）
- I. その他

セクション II.

英語学習期間

6. 何年間、英語を学習していますか。
 - A. 4 年以下
 - B. 4 年超～6 年
 - C. 6 年超～10 年
 - D. 10 年超
7. 次のうち、最も重要視する／していた英語の技能はどれですか。
 - A. リスニング
 - B. リーディング
 - C. スピーキング
 - D. ライティング
 - E. リスニング&スピーキング
 - F. リーディング&ライティング
 - G. リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング
8. 日常生活において英語を使用する割合はどのくらいですか。
 - A. なし
 - B. 1～10%
 - C. 11～20%
 - D. 21～50%
 - E. 51～100%
9. 次の英語技能のうち、最もよく使用するものはどれですか。
 - A. リスニング
 - B. リーディング
 - C. スピーキング
 - D. ライティング
 - E. リスニング&スピーキング
 - F. リーディング&ライティング
 - G. リスニング、リーディング、スピーキング&ライティング

10. 英語でのやりとりに苦勞する頻度はどのくらいですか。
 - A. ほとんどない
 - B. あまりない
 - C. 時々
 - D. 頻繁にある
 - E. ほぼ常時

- A. ほとんどない
- B. あまりない
- C. 時々
- D. 頻繁にある
- E. ほぼ常時

11. 英語を主言語とする国・地域に滞在したことがありますか。

- A. なし（質問 13 へ）
- B. 6 カ月未満
- C. 6 カ月～12 カ月
- D. 1 年超～2 年
- E. 2 年超～

12. 英語圏に滞在した主な目的は何でしたか。

- A. 進学のため（英語学習プログラム以外）
- B. 英語学習プログラム参加のため
- C. 旅行のため（仕事に無関係）
- D. 仕事のため
- E. その他

セクション III.

TOEIC® S&W 受験経験

13. 今回の受験前に、何回 TOEIC® S&W を受験しましたか。

- A. なし
- B. 1 回
- C. 2 回
- D. 3 回以上

14. 今回の TOEIC® S&W の主な受験目的は何ですか。

- A. 就職活動のため
- B. 昇進・昇格のため
- C. 英語学習プログラムの結果を測るため
- D. 将来の学習ニーズを知るため
- E. 学習中のコース卒業のため
- F. ビザ取得のため

資料 B1

2025 年 TOEIC® Speaking Test の母集団に基づく 各設問の回答率

バックグラウンドアンケートの設問	回答率
1. 学歴	79%
2. 専攻科目	79%
3. 就業状況	83%
4. 業種	98%
5. 職種	98%
6. 英語学習期間	82%
7. 最も重要視する言語技能	82%
8. 日常生活での英語使用率	82%
9. 最も使用する英語技能	82%
10. 英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	82%
11. 英語圏滞在期間	82%
12. 英語圏滞在目的	100%
13. TOEIC® S&W 受験回数	83%
14. TOEIC® S&W 受験目的	83%

*注：質問項目 4、5 および 12 はすべての受験者に当てはまるわけではないことから、これらの質問項目の回答率は、他の質問のサンプル数よりも少ないサンプルに基づいています。

資料 B2

2025 年 TOEIC® Writing Test の母集団に基づく 各設問の回答率

バックグラウンドアンケートの設問	回答率
1. 学歴	39%
2. 専攻科目	39%
3. 就業状況	47%
4. 業種	94%
5. 職種	93%
6. 英語学習期間	42%
7. 最も重要視する言語技能	42%
8. 日常生活での英語使用率	42%
9. 最も使用する英語技能	42%
10. 英語でのコミュニケーションに苦勞する頻度	42%
11. 英語圏滞在期間	42%
12. 英語圏滞在目的	99%
13. TOEIC® S&W 受験回数	46%
14. TOEIC® S&W 受験目的	47%

*注：質問項目 4、5 および 12 はすべての受験者に当てはまるわけではないことから、これらの質問項目の回答率は、他の質問のサンプル数よりも少ないサンプルに基づいています。

資料 C

地域別のスピーキングとライティングのスコアの 相関値

地域	相関値
アジア	0.65
ヨーロッパ	0.68
北米	0.75
南米	0.85



Speaking & Writing Tests

847852

